

宮古島（４）庁舎等改修建築工事

件 名	宮古島（４）庁舎等改修建築工事					図面番号	1 / 20
図 名	表 紙					縮 尺	—
警備隊長	副 隊 長	後支隊長	営繕班長	工事企画係	管財係	設計製図	
Iyota	Sakuma	Kawasaki	Kinayama	Motsubayashi	Suzuki	kinayama	
							
宮古警備隊 後方支援隊						R4. 10. 3	

特記仕様書

- 1 工事名
宮古島（４）庁舎等改修建築工事
- 2 工事場所
沖縄県宮古島市上野字野原 8 3－5 陸上自衛隊宮古島駐屯地
- 3 工 期
契約日の翌日から令和 5 年 3 月 3 1 日まで
- 4 工事概要

(1) B 庁舎改修工事

ア 間仕切壁新設 . . . 4 箇所

イ 鋼製建具新設 . . . 2 箇所

ウ 内装改修 . . . 一式

エ 内装仕上げ撤去 . . . 一式

(2) D 庁舎改修工事

ア 間仕切壁新設 . . . 1 箇所

イ 鋼製建具新設 . . . 1 箇所

ウ 内装改修 . . . 一式
- 5 一般仕様

(1) 一般事項

ア 本工事の施工は、本特記仕様書によるほか、設計図及び標準仕様書等の定めるところに従い誠実に行う。
なお、特記仕様書の記載内容は、標準仕様書等の記載内容に優先するものである。また、これらに定め
のない事項については、監督官との協議によるほか、以下の基準類により実施する。
(ア) 標準仕様書等

a 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和 4 年版

b 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和 4 年版

(イ) 積算基準類
公共建築工事積算基準

(ウ) その他基準類
公共建築工事標準書式

イ 本工事の実施に当たっては、適用を受ける関係法令等（条例を含む。）を遵守し、材料の選定、品質性
能の確保、工法の選定、検査等を行う。

ウ 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取合い等の関係で、設計図書による
ことが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督官と協議する。

エ 本工事の実施に当たり、設計図書に明記なき事項についても施工上当然処置すべき事項は、受注者の負
担で実施する。

(2) 駐屯地への立入りのために必要な手続き及び駐屯地規則厳守の徹底

ア 駐屯地への立ち入り及び行動（出入門手続・火気取扱い・工事用通行路等）は、当該駐屯地の規制（部
隊諸規則）及び関係者の指示を厳守して行うものとし、工事施工地域以外への立入りを禁止する。
なお、やむを得ず当該地域以外への立入りを必要とする場合は、所定の手続きを行う。

イ 駐屯地の区域内における工事用車両の通行ルート of 安全対策については、受注者において十分管理する
ものとし、通行ルート、工事施工場所周辺の道路等は、土砂等の飛散による粉じんが発生しないように清
掃しなければならない。

ウ 駐屯地の区域内の施設等に損傷与えないよう十分注意して施工する。万一破損させた場合は、速やかに
監督官及び駐屯地の管理者に報告するとともに、受注者の負担において原形に復旧する。また、第三者等
に損害を与えた場合は、受注者の責任において補償する。

(3) 施工確認等
本工事における施工確認は、次に基づき行うものとする。
(ア) 受注者は、施工確認、監督官の立会いに必要となる調査及び出来形等算出の作業、品質等の確認を行
い、その結果を整理し、監督官に提出する。
(イ) 受注者は、不可視部分となる工事の調査が出来るよう監督官に十分な機会を提供する。
(ウ) 施工確認及び立会いは、監督官が行う。

- (4) 工事現場管理

ア 施工管理

(ア) 設計図書に適合する工事目的物を完成させるために、施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の
施工管理を行う。

(イ) 受注者は、工事の施工に携わる下請負人に、工事関係図書及び監督官の指示を受けた内容を周知徹底
する。

イ 施工体制台帳等の適正な整備
受注者は、本工事を施工するために下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を作成し、
「建設業の許可書」及び契約書等の写し（下請負人を含む。）を添えて監督官に提出する。
なお、提出時期は工事着手前、体制変更時及び監督官の求める時期とする。

ウ 現場代理人等

(ア) 受注者は、本工事の着手に先立ち現場代理人及び主任技術者を配置する。
なお、現場代理人と主任技術者は兼任できる。

(イ) 本工事の施工に際し、資格を必要とする作業等については、その資格の免状の写しを監督官に提出す
る。

エ 工事現場の管理で特に必要な事項

(ア) 工事の安全には十分留意し、必要に応じて保安灯等の危険防止のための措置を講ずるとともに、機会
あるごとに作業員に対しても注意を喚起し、また、作業の工程ごとに安全に対する検討を行い必要な措
置を講ずる等、安全管理を徹底する。

(イ) 施工に当たっては、施工条件を工事関係者に十分に把握させるとともに作業員等に対して、安全教育
を実施し、安全な作業方法及び安全の点検を徹底する。

(ウ) 受注者は本工事の施工に際し、別途発注の関連工事と相互に綿密な調整を行い、工事の円滑な進捗に
努める。

オ 発生材等の処理
本工事による発生材は、金属屑については駐屯地内の監督官の指示する場所に集積・整理する。また、
金属屑以外の発生材については、産業廃棄物として関係法令等に基づき適切に処分し、処理完了後、産業
廃棄物管理票（マニフェスト）E 票（写し）を提出する。

カ 養生
既存施設部分、工事目的物の施工済み部分等については、汚損しないよう適切な養生を行う。

キ 後片付け
工事の完成に際しては、当該工事に関する部分の後片付け及び清掃を行う。
- (5) 作業時間
本工事における駐屯地の出入門時間は、8 時 3 0 分から 1 7 時までとする。ただし、これを超える時間に
ついては、監督官と協議の上、実施する。
- (6) 提出書類等

ア 本工事の写真は、カメラ（カラー）又はデジタルカメラ（総画素数 8 0 万画素数以上及びファイル形式
J P E G）を使用し、着手前、施工中、完成時及び監督官の指示するところを撮影し、監督官に提出する。

イ その他の提出書類等は、標準仕様書及び監督官の指示による。

6 工事仕様

(1) 材料

- ア 本工事に使用する材料は設計図書に適合するものとし、全て新品とする。
- イ 設計図書に記載されている材料の製造者及び型式（型番）は参考のものであり、製造者等を特定しているものではない。
- ウ 使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料（承認図及び試験成績書等）を、監督官に提出する。ただし、設計図書においてJISによると指定された材料でJISマーク表示のある材材を使用する場合及びあらかじめ監督官の承諾を受けた場合は、資料の提出を省略することができる。
- エ 材料の色等については、監督官の指示を受ける。
- オ 材料の搬入ごとに、監督官に報告する。ただし、あらかじめ監督官の承諾を受けた場合は、この限りでない。
- カ 現場に搬入した材料は、種別ごとに監督官の検査を受ける。ただし、あらかじめ監督官の承諾を受けた場合は、この限りでない。

(2) 工事工程

B庁舎に係る改修工事は、Ⅱ期工事に区分し施工するものとし、施工区分は下表による。なお、Ⅰ期工事施工完了に際し、中間検査を行う。

Ⅰ期工事	Ⅱ期工事
B庁舎1F-A工区改修	B庁舎1F-B工区改修

(3) 仮設工事

- ア 本工事では原則として、駐屯地の用水、電力の使用はできない。使用する場合は、仮設用メーターを設置し使用料を徴収する。
- イ 内部足場の設置は、脚立、足場板等による。
- ウ 既存部分の養生は、ビニールシート、合板等の適切な方法で養生を行う。
- エ B庁舎1階居室(1)及び事務室(4)は、仮設間仕切りにより施工作業範囲外にじんあい等が飛散しないよう養生する。なお、仮設間仕切りの種別は、C種とする。

(4) 防水工事

- ア シーリング材は、JIS A 5758（建築用シーリング材）による。
- イ シーリング材の種類、施工箇所及び目地寸法は、設計図書による。

(5) 金属工事

- ア ステンレスの表面仕上げの種類は、HL仕上げとする。
- イ 軽量鉄骨天井下地
- (ア) 天井下地材は、JIS A 6517（建築用鋼製下地材（壁・天井））による。
- (イ) 天井下地材の種類は、設計図書による。
- (ウ) 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔は900mm程度とし、周辺部は端から150mm以内とする。
- ウ 軽量鉄骨壁下地
- (ア) 壁下地材は、JIS A 6517（建築用鋼製下地材（壁・天井））による。
- (イ) 開口部補強材及び補強材取付け金物は、防錆処理されたものとする。
- (ウ) 壁下地材の種類は、設計図書による。

(6) 建具工事

- ア B庁舎1階事務室(9)の鋼製片開フラッシュ戸（特定防火設備（遮煙））は、建築基準法に基づく防火戸の指定又は認定を受けたものとする。
- イ 枠、沓摺等のアンカーは、建具に適したものとし、両端から逃げた位置から、間隔500mm以下に取り付ける。
- ウ 建具金物等は、建具表による他、建具の製造所の仕様による。
- エ ガラス
- (ア) フロート板ガラスは、JIS R 3202（フロート板ガラス及び磨き板ガラス）による。
- (イ) 建具に取り付けるガラスの留め材は、シーリング材とする。
- オ 建具は、あらかじめ承認図を監督官に提出し承認を得る。

(7) 塗装工事

- ア 仕上げの色合いは、既存の色合いと同一色とし、細部は監督官の指示による。
- イ 塗装面の素地ごしらの種別は下表による。

塗装面	種別
木部	B種
亜鉛めっき鋼面	B種
石膏ボード	B種

- ウ 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料の種別は、鋼製建具はB種とし、その他はA種とする。

- エ 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗りの種別は、鋼製建具はA種とし、その他はB種とする。
- オ 各種塗料塗りの種類及び種別は下表による。

記号	種類	塗装面	種別
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部(屋内) 亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	B種 -
DP	耐候性塗料塗り	亜鉛めっき鋼面	上塗りの等級:1級
EP	合成樹脂エポキシペイント塗り	石膏ボード	B種

(8) 内装工事

- ア ビニル床タイル張り
- (ア) ビニル床タイルは、JIS A 5705（ビニル床材）により、種類はコンポジションビニル床タイル（半硬質）とする。
- (イ) ビニル床タイル用接着剤は、JIS A 5536（床仕上げ用接着剤）により、種別はゴム系ラテックス形とし、接着剤のホルムアルデヒド放散量による区分は、F☆☆☆☆とする。
- イ カーペット敷き
- (ア) タイルカーペットは、JIS A 4406（タイルカーペット）により、パイルの形状はループパイルとし、カーペットの柄は、模様入りとする。
- (イ) タイルカーペットの寸法は500mm角、総厚さは6.5mmとする。
- (ウ) タイルカーペット用の接着剤は、JIS A 5536（床仕上げ用接着剤）により、カーペット製造所の指定するものとし、粘着はく離（ピールアップ）形とする。なお、接着剤のホルムアルデヒド放散量による区分は、F☆☆☆☆とする。
- ウ 石膏ボード及びその他ボード張り
- (ア) ケイ酸カルシウム板は、JIS A 5430（繊維強化セメント板（けい酸カルシウム板のタイプ2））による。
- (イ) 石膏ボードは、JIS A 6901（せっこうボード類）による。
- (ウ) ボード類の取り付けに使用する小ねじ等の種類及び形状は、取付け材料に適したものとする。
- (エ) 壁面におけるケイ酸カルシウム板の目地工法は、突付け工法とする。
- (オ) 壁面における石膏ボードの目地仕様はベベルエッジとする。また、目地工法は、突付けV目地工法とし、その適用範囲は天井までとする。なお、水平目地は設けない。
- (カ) 天井化粧石膏ボード張りには、アルミ製廻り縁を設ける。
- (キ) 壁石膏ボード張りに使用する見切縁は、塩化ビニル製とし使用箇所は図示による。
- (ク) 壁石膏ボード張りにおいて、入隅及び出隅に設けるジョイナーは、入隅は塩化ビニル製とし、出隅はアルミ製とする。

(9) ユニット及びその他の工事

- ア 室名札の材質及び形状は図示による。なお、文字の入力は行わない。
- イ 天井点検口の材質はアルミ製とし、内枠、外枠の種類は額縁タイプとする。

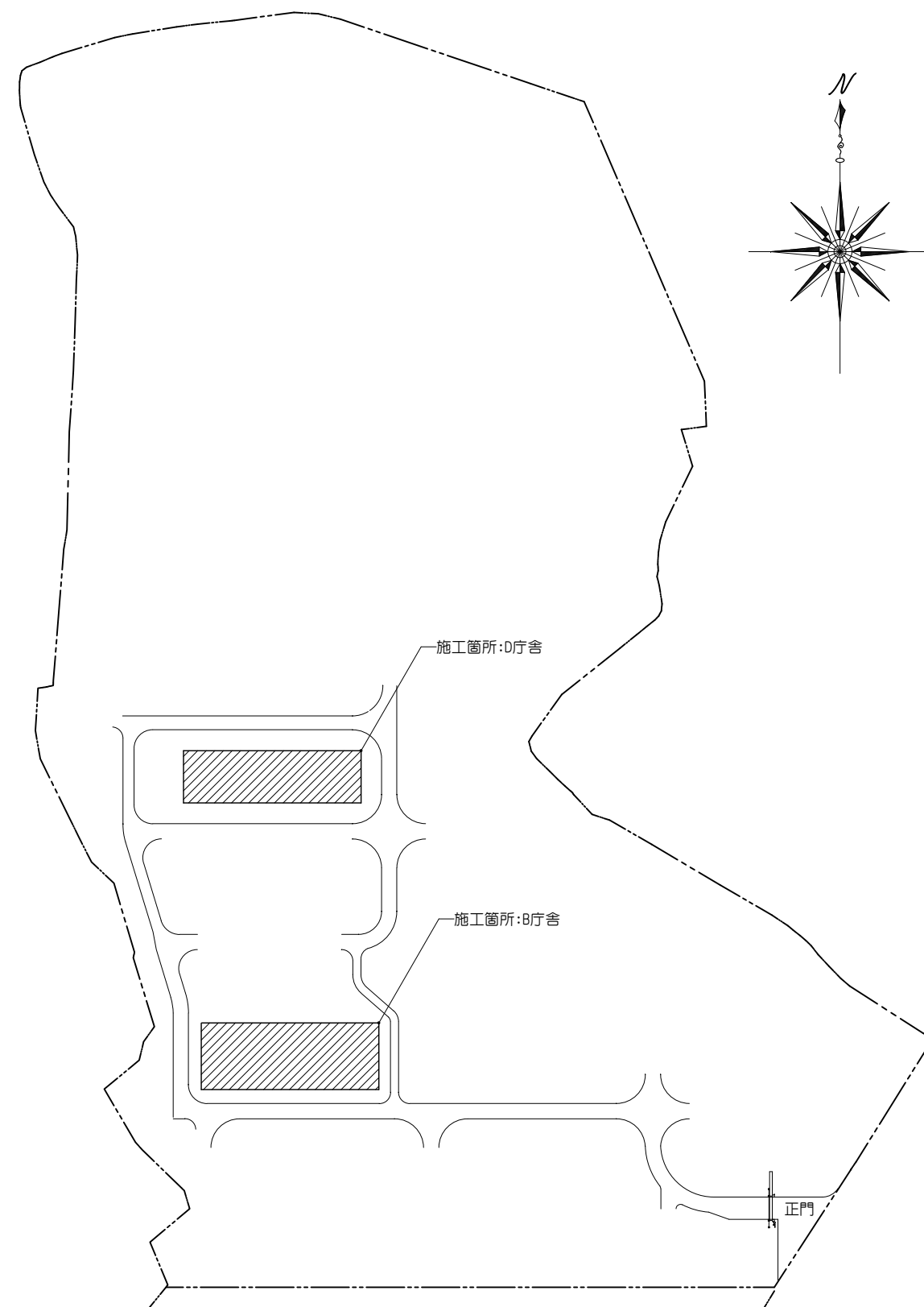
(10) 撤去工事

撤去工事実施に当たっては、撤去要領及び工程等について監督官と十分協議の上、着手する。

件名	宮古島（4）庁舎等改修建築工事	図面番号	3 / 26
図名	特記仕様書②	縮尺	————
宮古警備隊後方支援隊		R4.10.3	

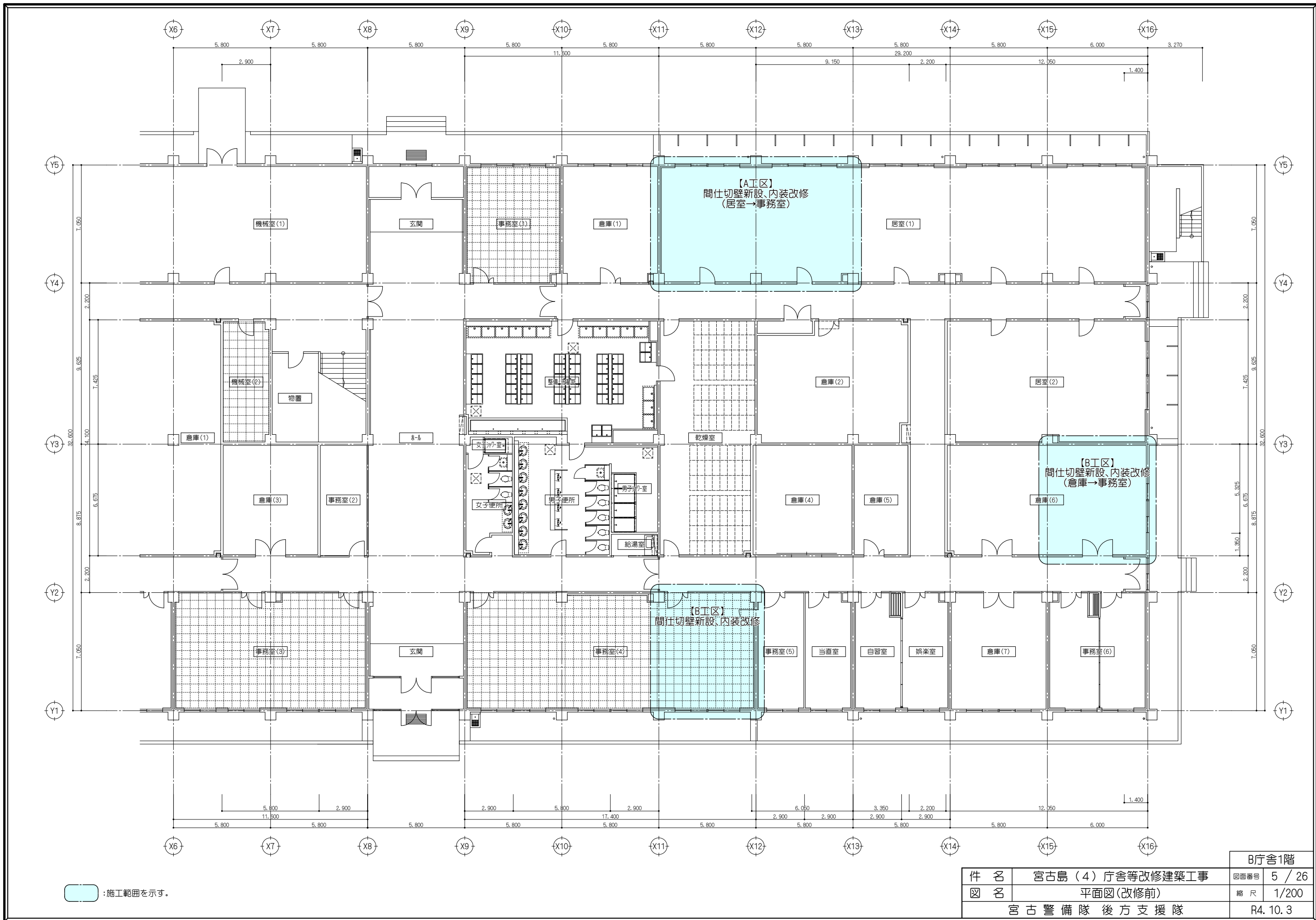


案内図 S=1/50,000

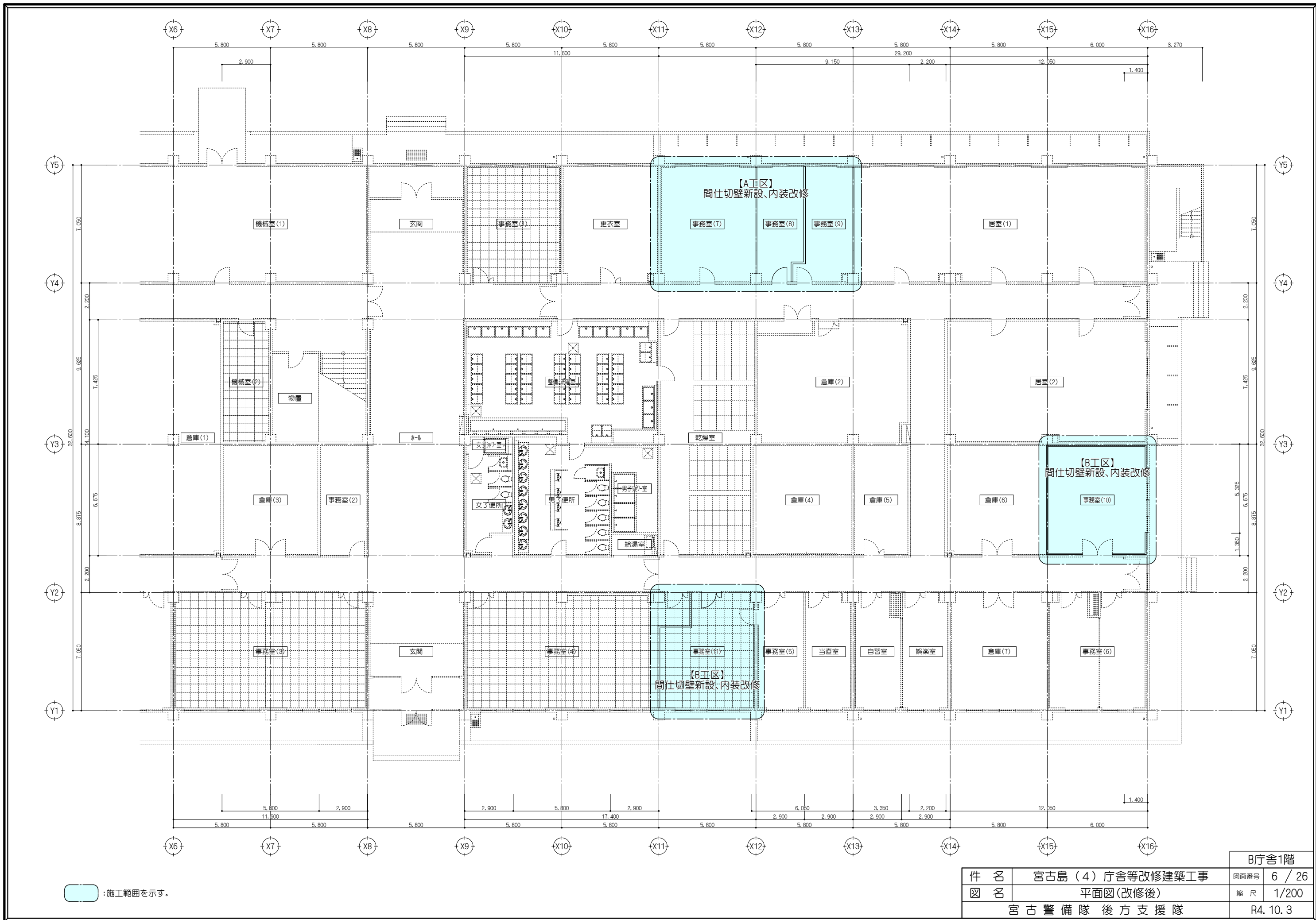


配置図 S=1/3,000

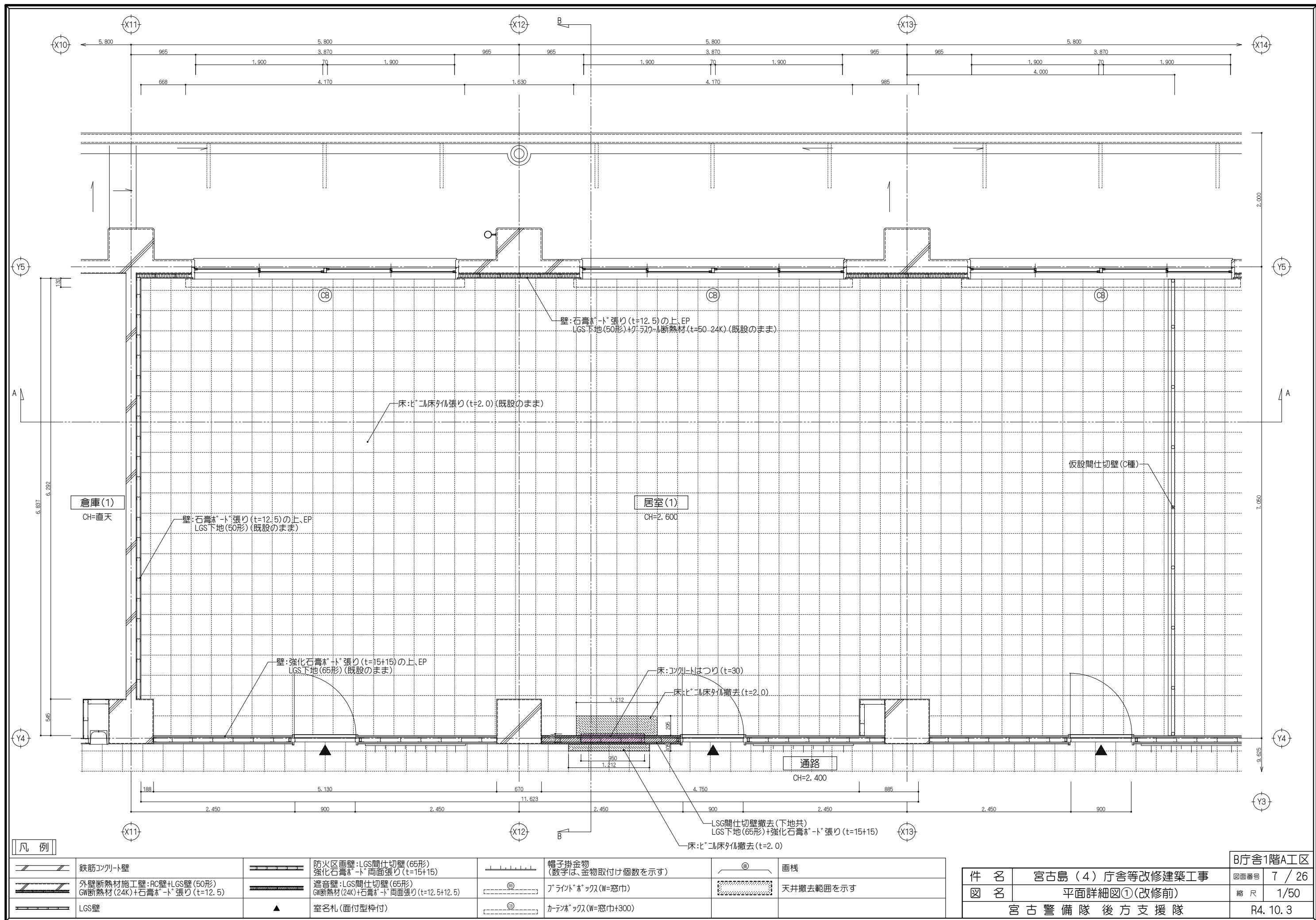
件名	宮古島（４）庁舎等改修建築工事	図面番号	4 / 26
図名	案内図・配置図	縮尺	図示
宮古警備隊 後方支援隊		R4.10.3	



件名	宮古島（４）庁舎等改修建築工事	B庁舎1階
図名	平面図(改修前)	図面番号 5 / 26
	宮古警備隊 後方支援隊	縮尺 1/200
		R4. 10. 3



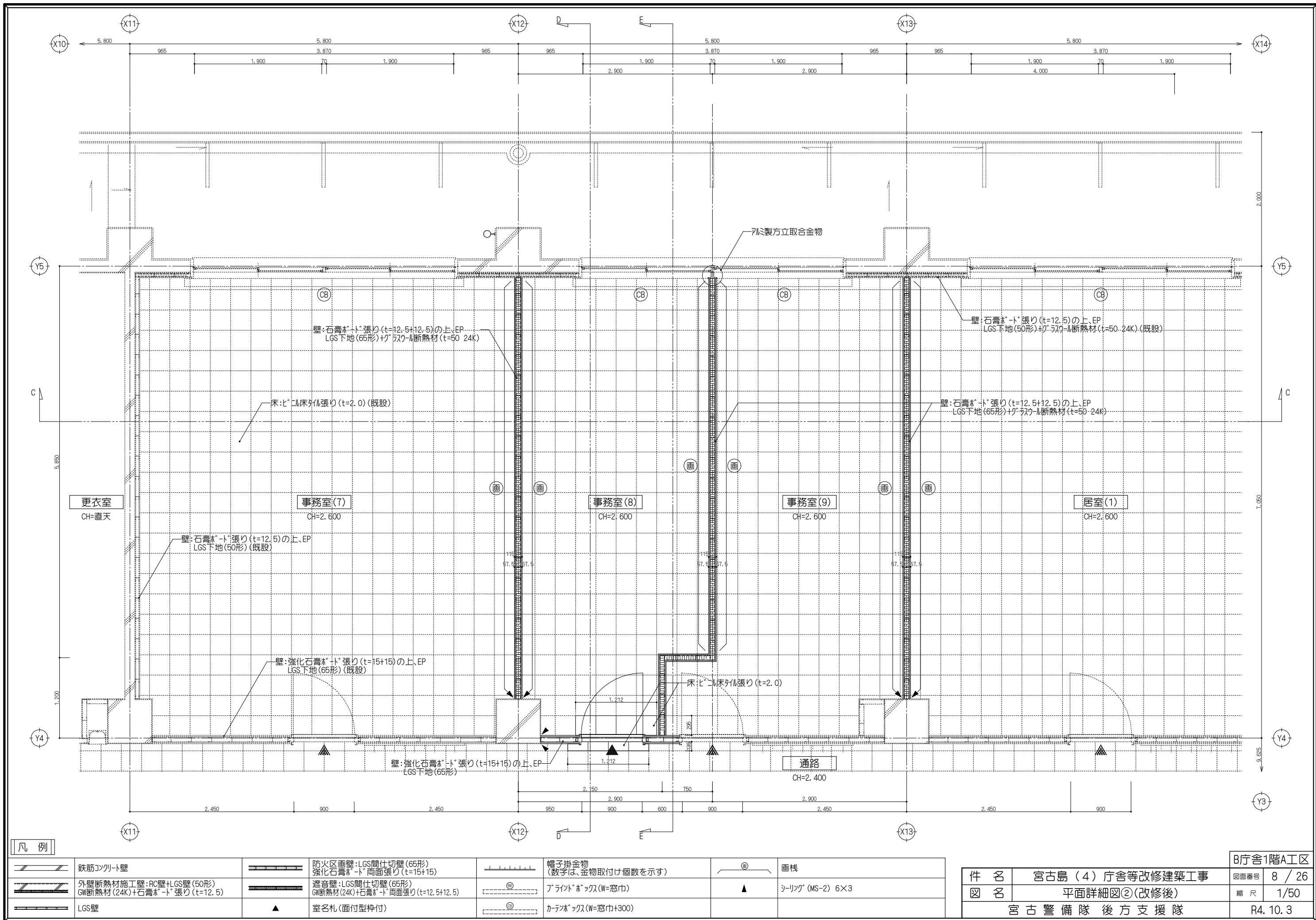
件名	宮古島（４）庁舎等改修建築工事	B庁舎1階
図名	平面図(改修後)	図面番号 6 / 26
宮古警備隊 後方支援隊		縮尺 1/200
		R4. 10. 3



凡 例			
	鉄筋コンクリート壁		防火区画壁: LGS間仕切壁 (65形)
	外壁断熱材施工壁: RC壁+LGS壁 (50形)		遮音壁: LGS間仕切壁 (65形)
	GW断熱材 (24K) + 石膏ボード張り (t=12.5)		GW断熱材 (24K) + 石膏ボード両面張り (t=12.5+12.5)
	LGS壁		室名札 (面付型枠付)
			帽子掛金物 (数字は、金物取付け個数を示す)
			ブラインドボックス (W=窓巾)
			カーテンボックス (W=窓巾+300)
			画棧
			天井撤去範囲を示す

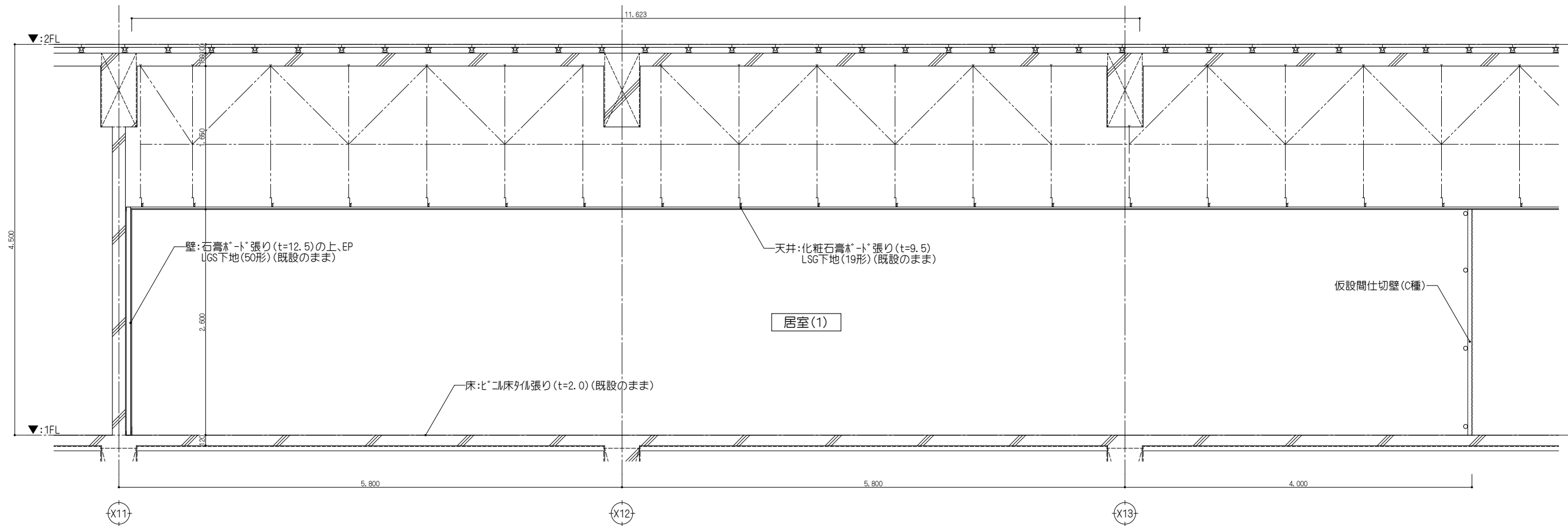
件 名	宮古島（４）庁舎等改修建築工事	図面番号	7 / 26
図 名	平面詳細図①(改修前)	縮 尺	1/50
宮古警備隊 後方支援隊		R4. 10. 3	

B庁舎1階A工区

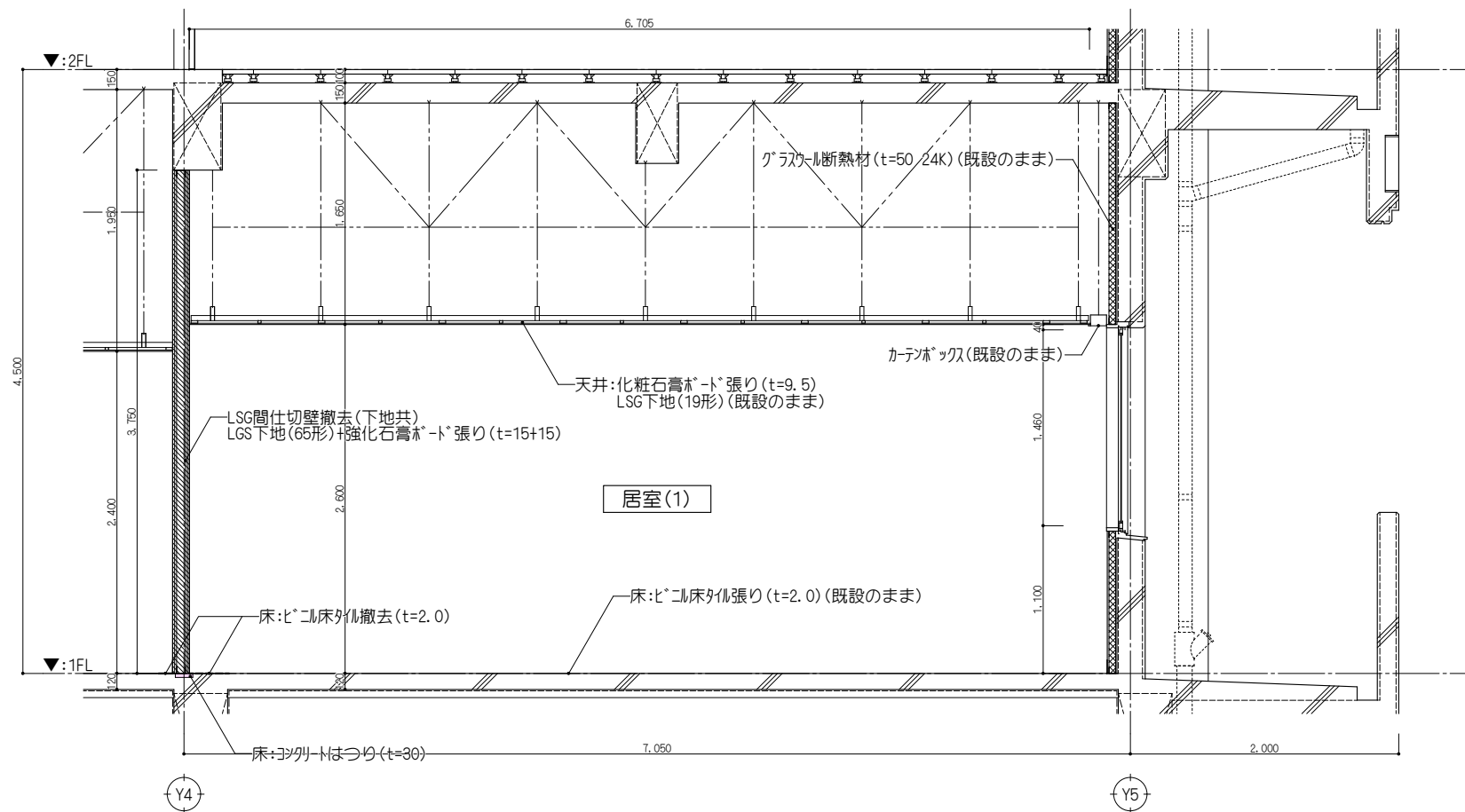


凡 例					
	鉄筋コンクリート壁		防火区画壁:LGS間仕切壁(65形) 強化石膏ボード両面張り(t=15+15)		帽子掛金物 (数字は、金物取付け個数を示す)
	外壁断熱材施工壁:RC壁+LGS壁(50形) GN断熱材(24K)+石膏ボード張り(t=12.5)		遮音壁:LGS間仕切壁(65形) GN断熱材(24K)+石膏ボード両面張り(t=12.5+12.5)		ブラインドボックス(W=窓巾)
	LGS壁		室名札(面付型枠付)		カーテンボックス(W=窓巾+300)

B庁舎1階A工区	
件 名	宮古島(4)庁舎等改修建築工事
図 名	平面詳細図②(改修後)
縮 尺	1/50
宮古警備隊 後方支援隊	
R4.10.3	

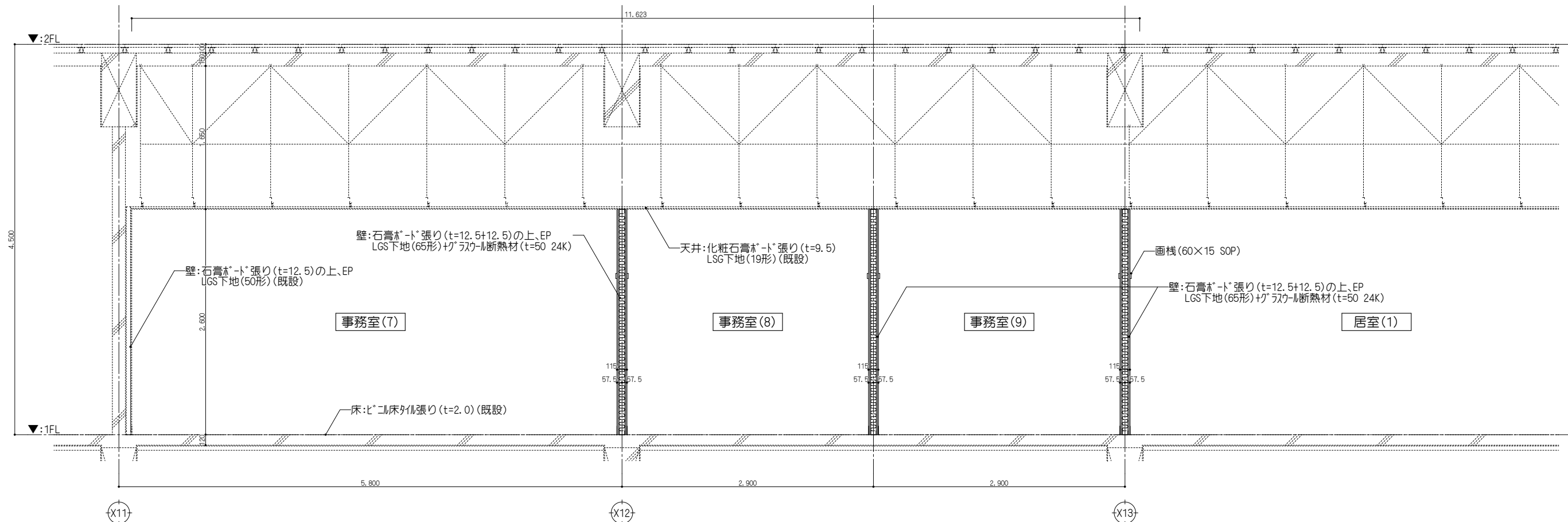


A-A 断面詳細図 S=1/50

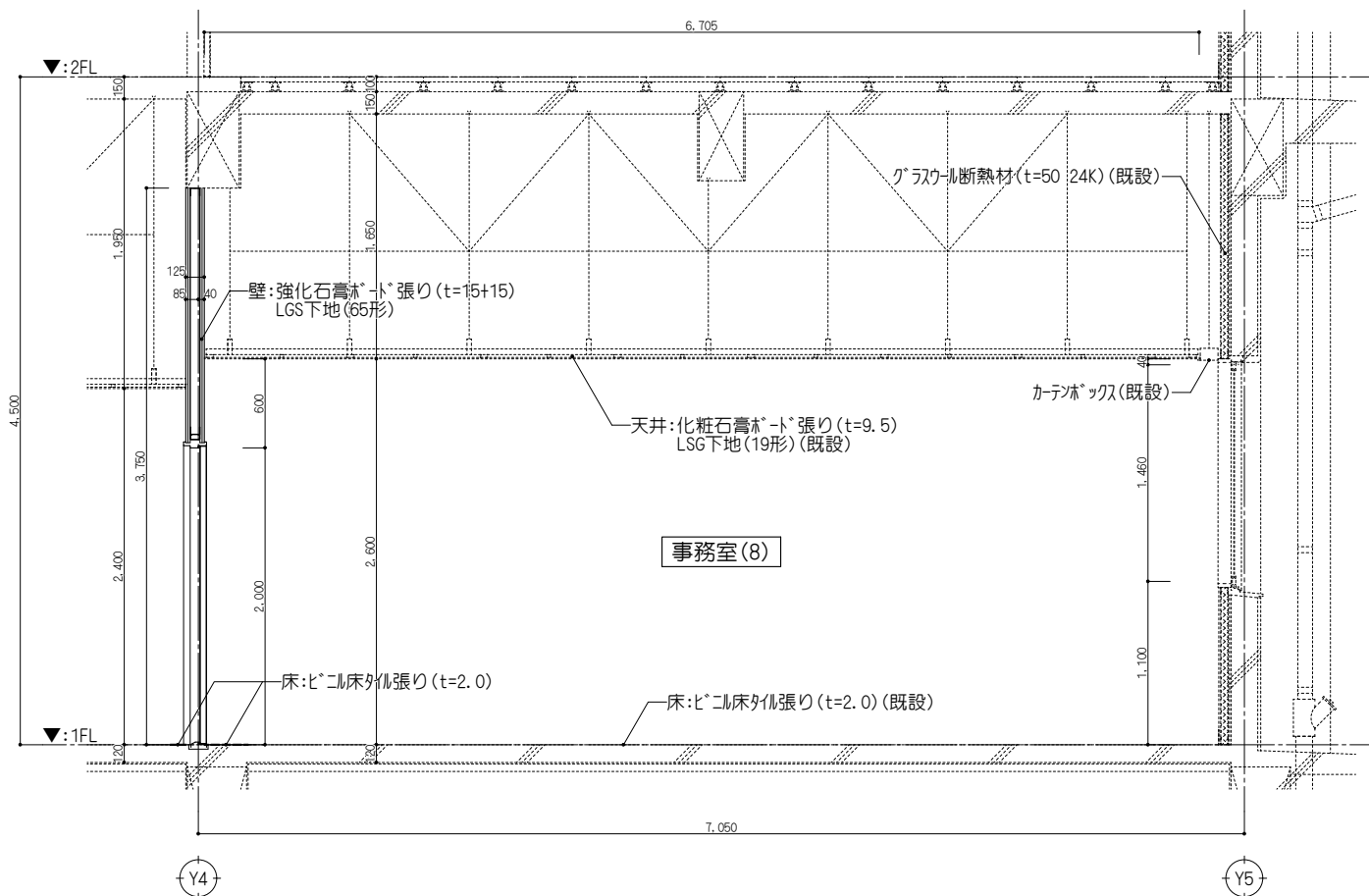


B-B 断面詳細図 S=1/50

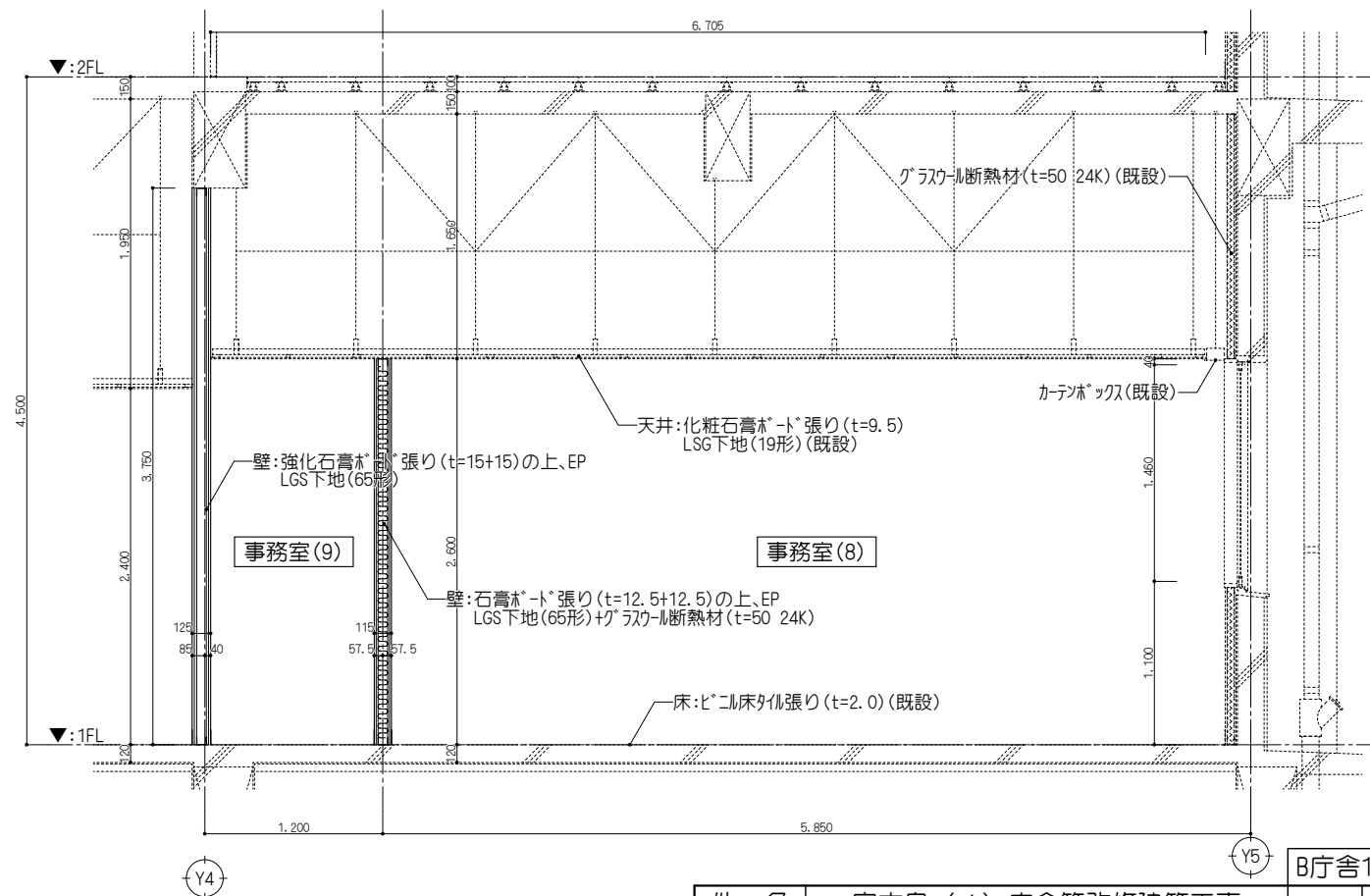
件名	宮古島(4)庁舎等改修建築工事	図面番号	B庁舎1階A工区 9 / 26
図名	断面詳細図①(改修前)	縮尺	1/50
宮古警備隊 後方支援隊			R4.10.3



C-C 断面詳細図 S=1/50

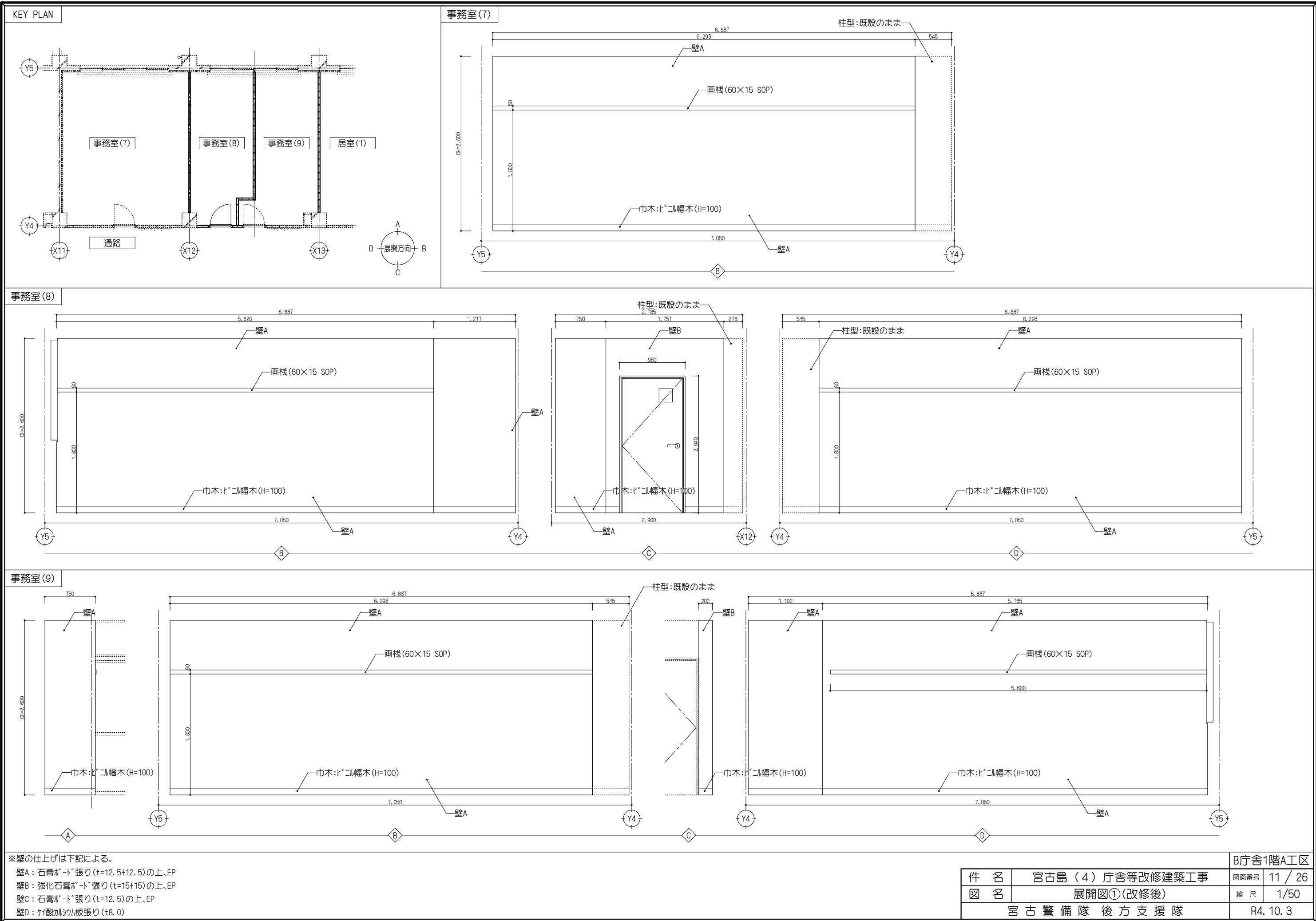


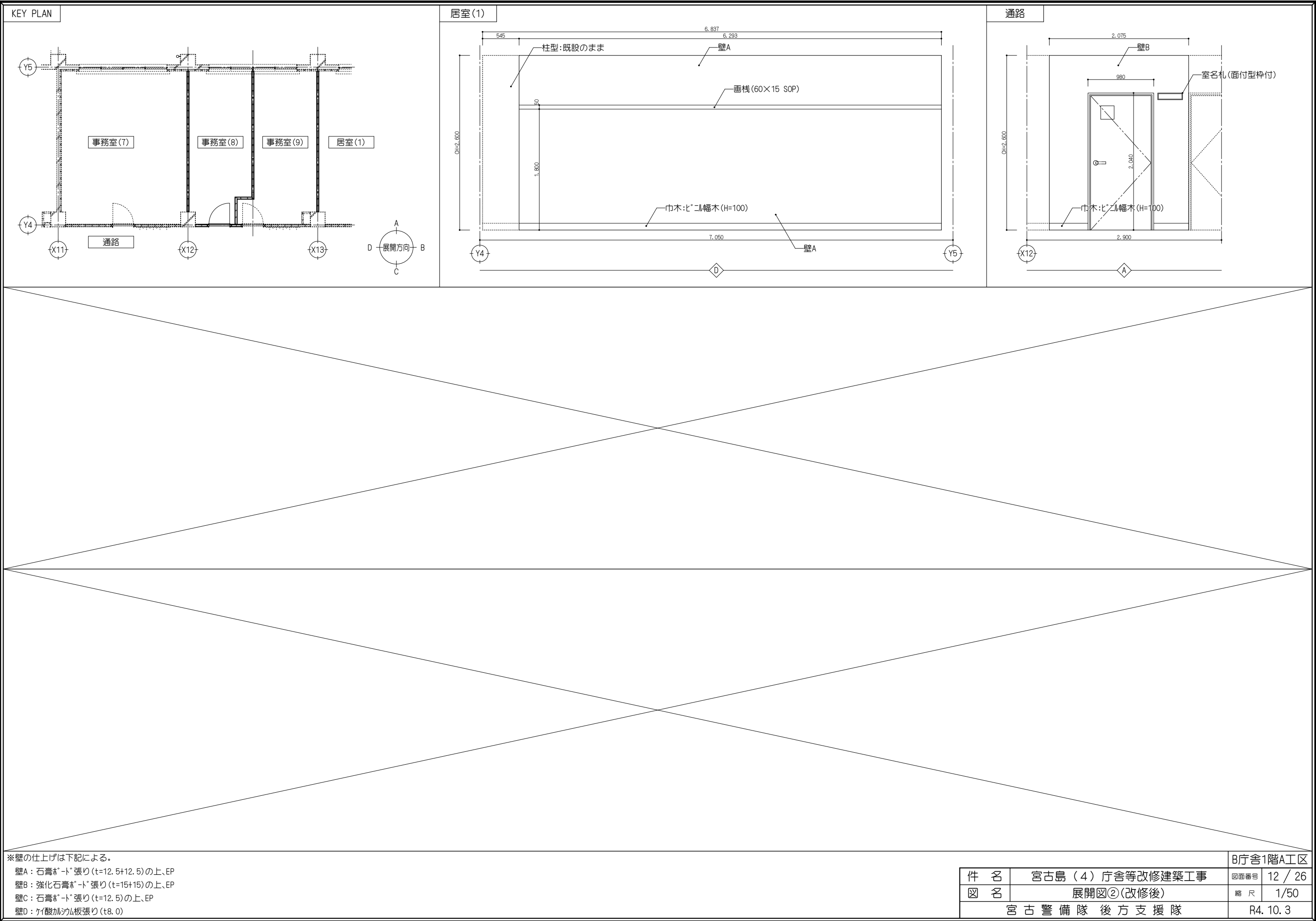
D-D 断面詳細図 S=1/50



E-E 断面詳細図 S=1/50

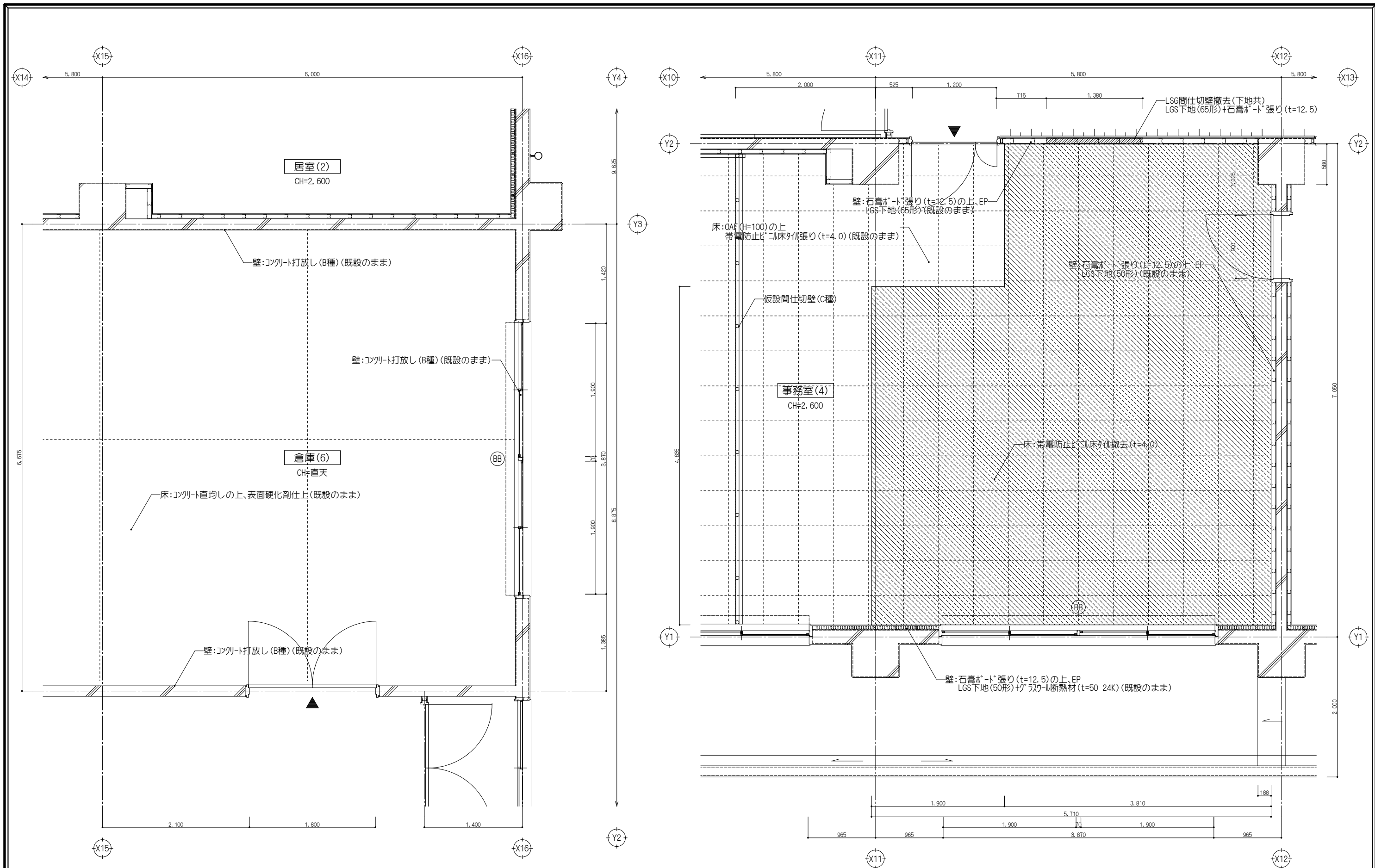
件名	宮古島(4)庁舎等改修建築工事	図面番号	10 / 26
図名	断面詳細図②(改修後)	縮尺	1/50
宮古警備隊 後方支援隊			R4. 10. 3

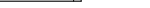


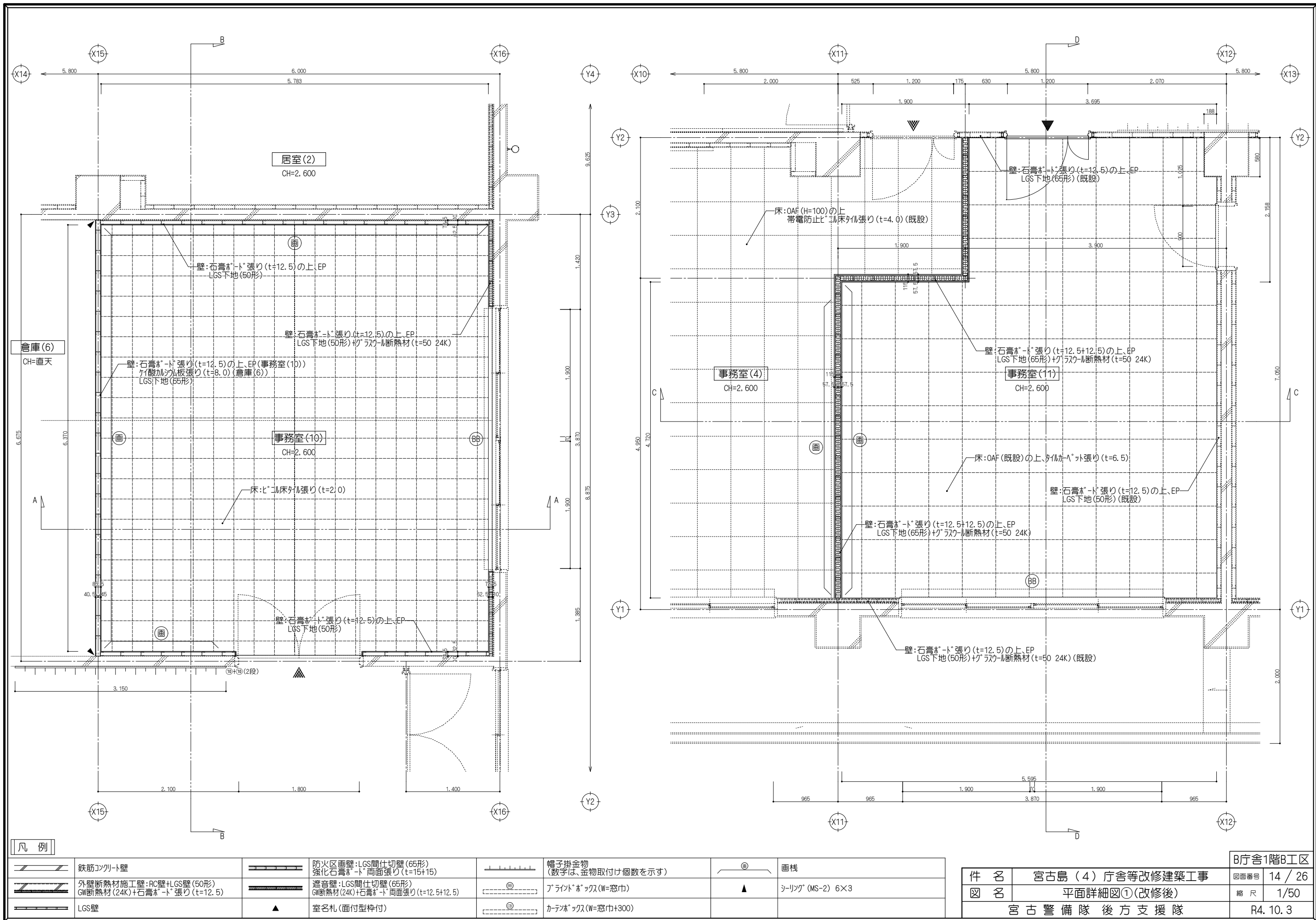


※壁の仕上げは下記による。
壁A：石膏ボード張り (t=12.5+12.5)の上、EP
壁B：強化石膏ボード張り (t=15+15)の上、EP
壁C：石膏ボード張り (t=12.5)の上、EP
壁D：珪酸カルシウム板張り (t8.0)

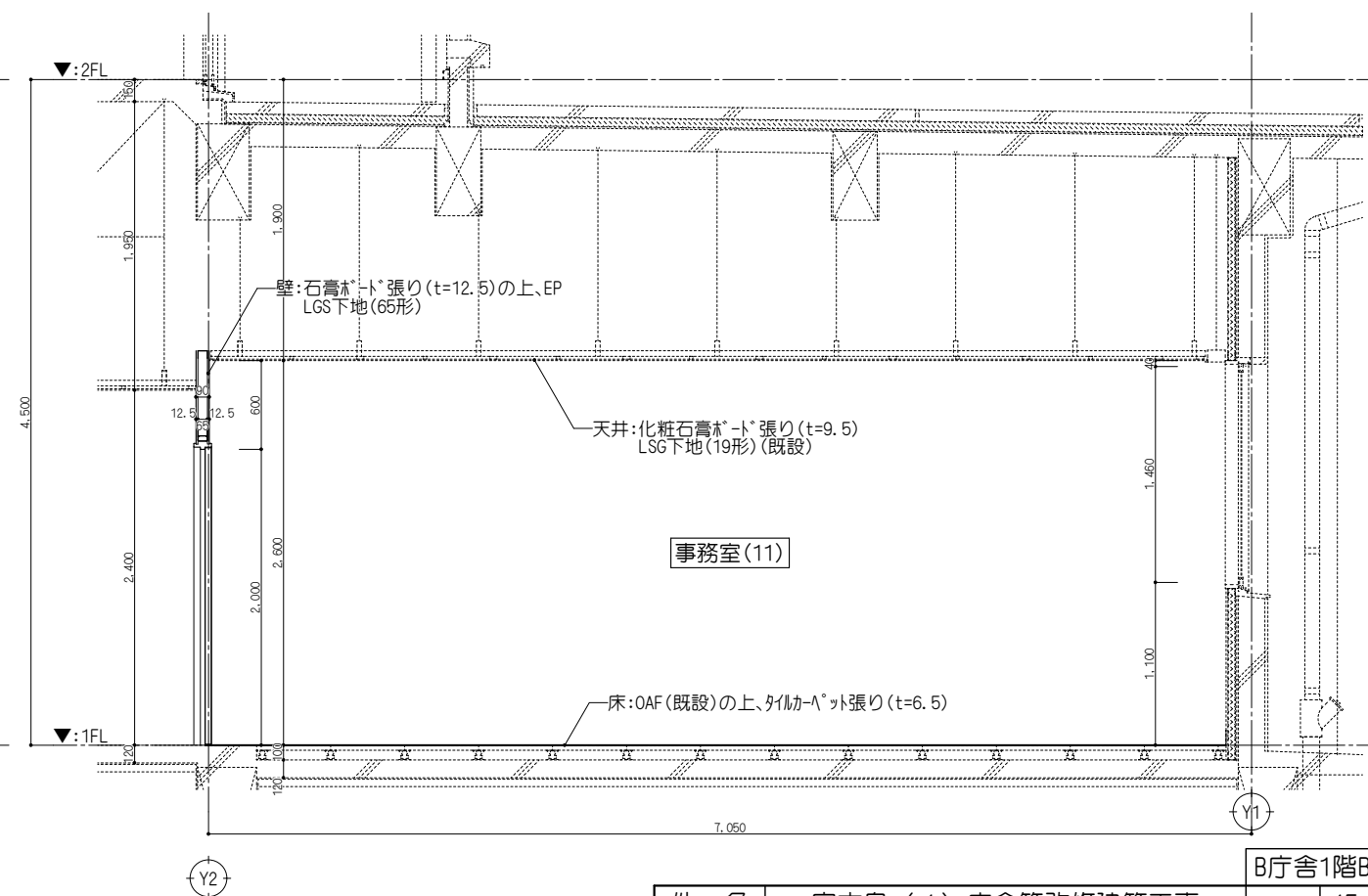
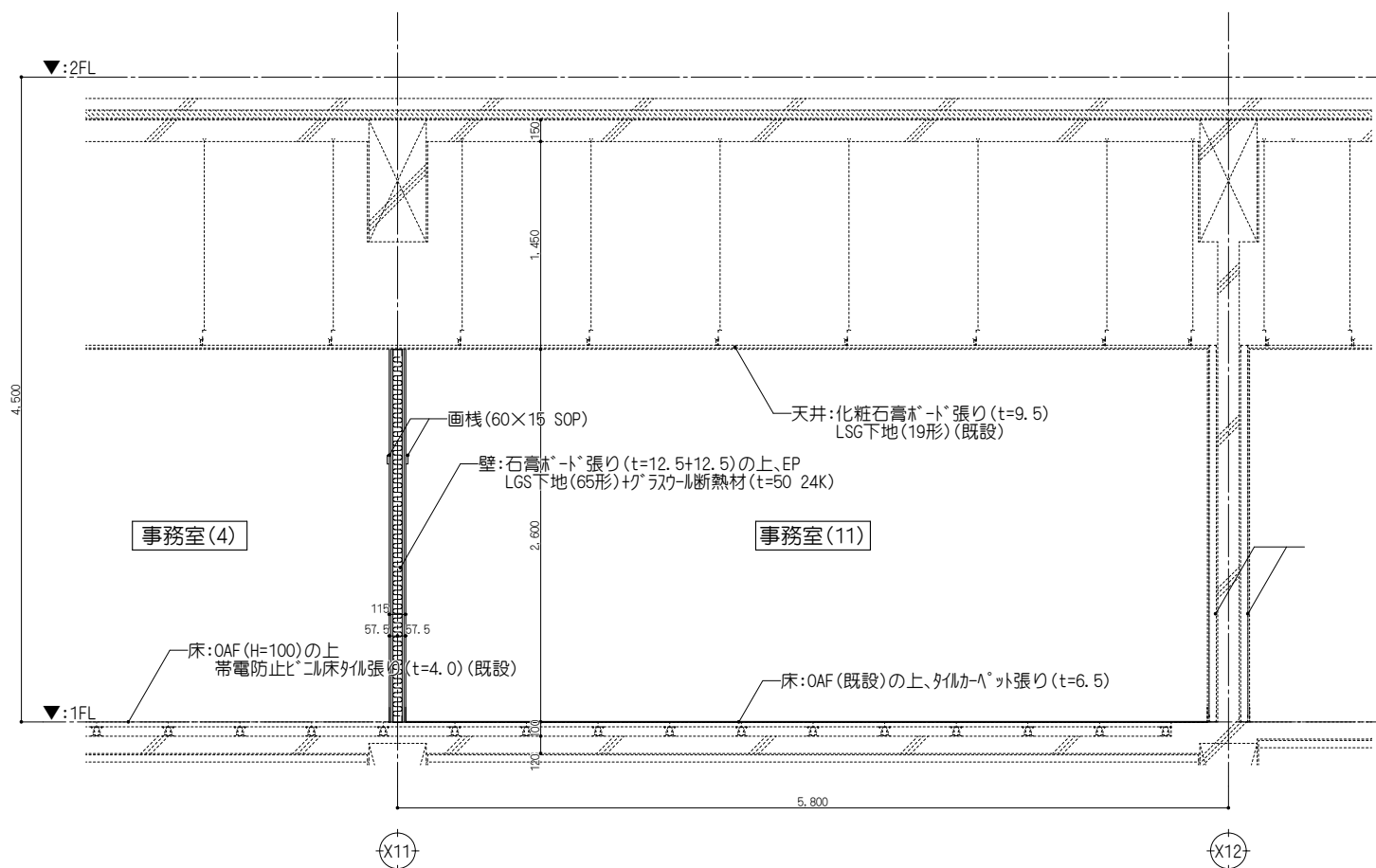
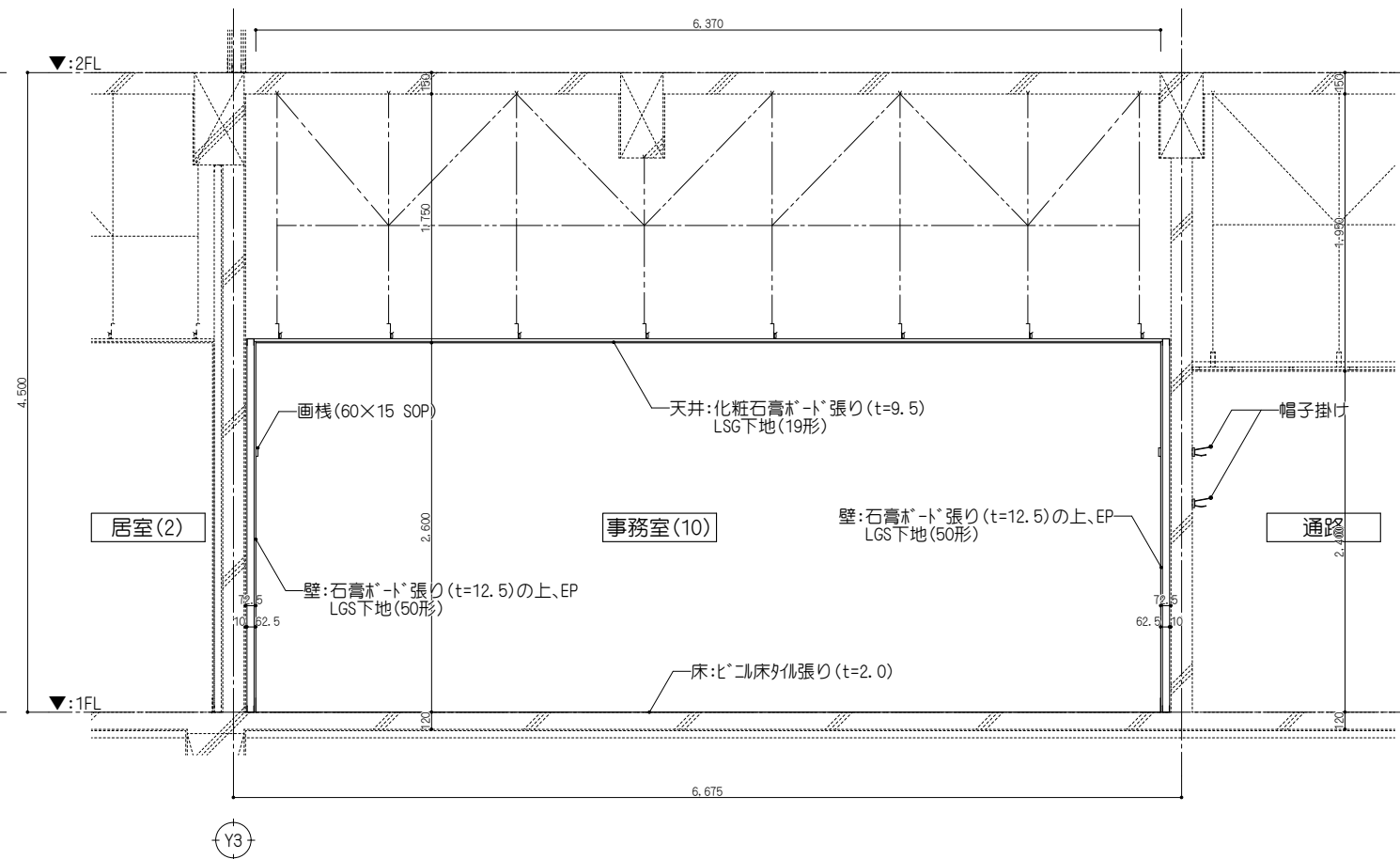
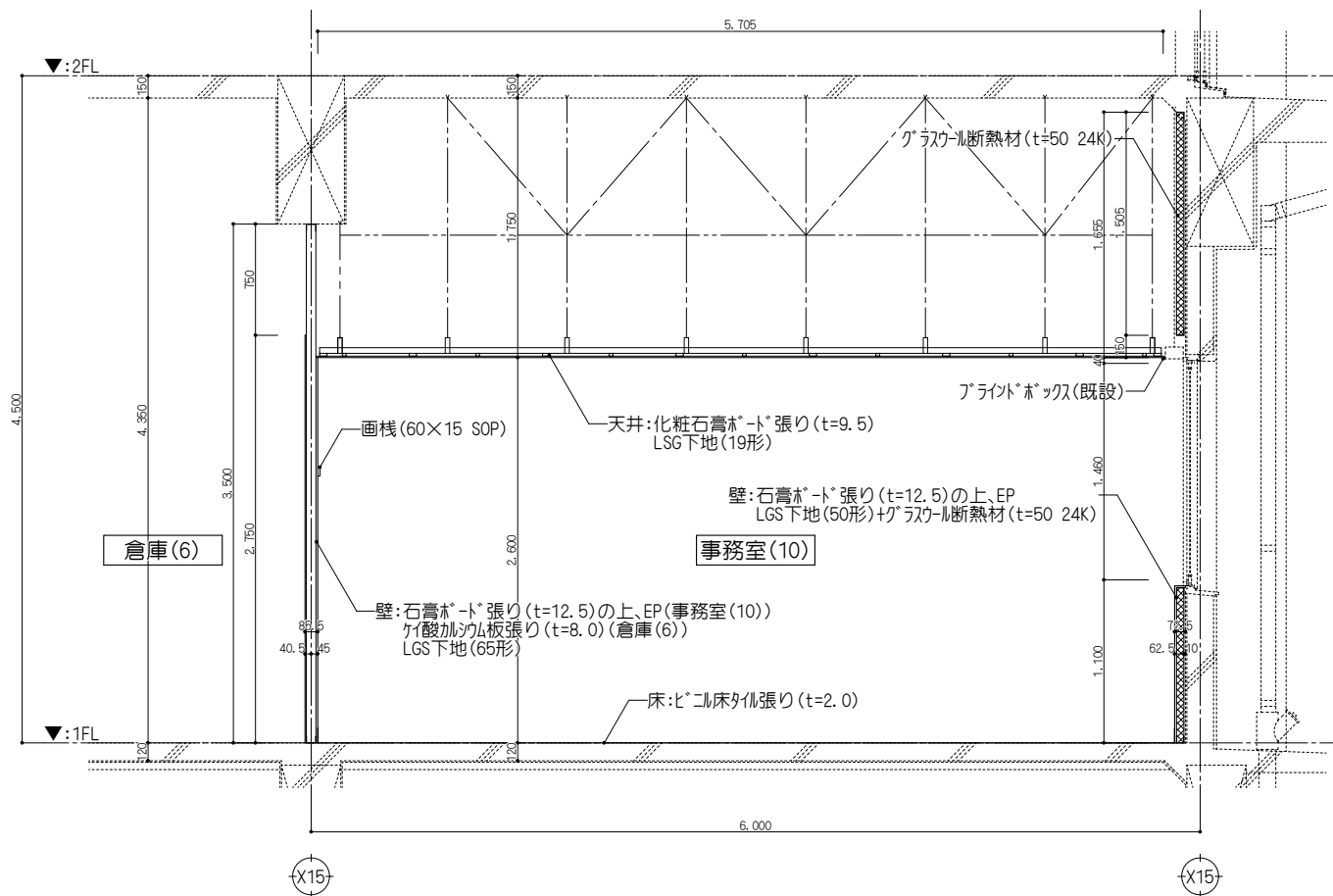
件名	宮古島（４）庁舎等改修建築工事	B庁舎1階A工区	
図名	展開図②(改修後)	図面番号	12 / 26
宮古警備隊 後方支援隊		縮尺	1/50
			R4.10.3



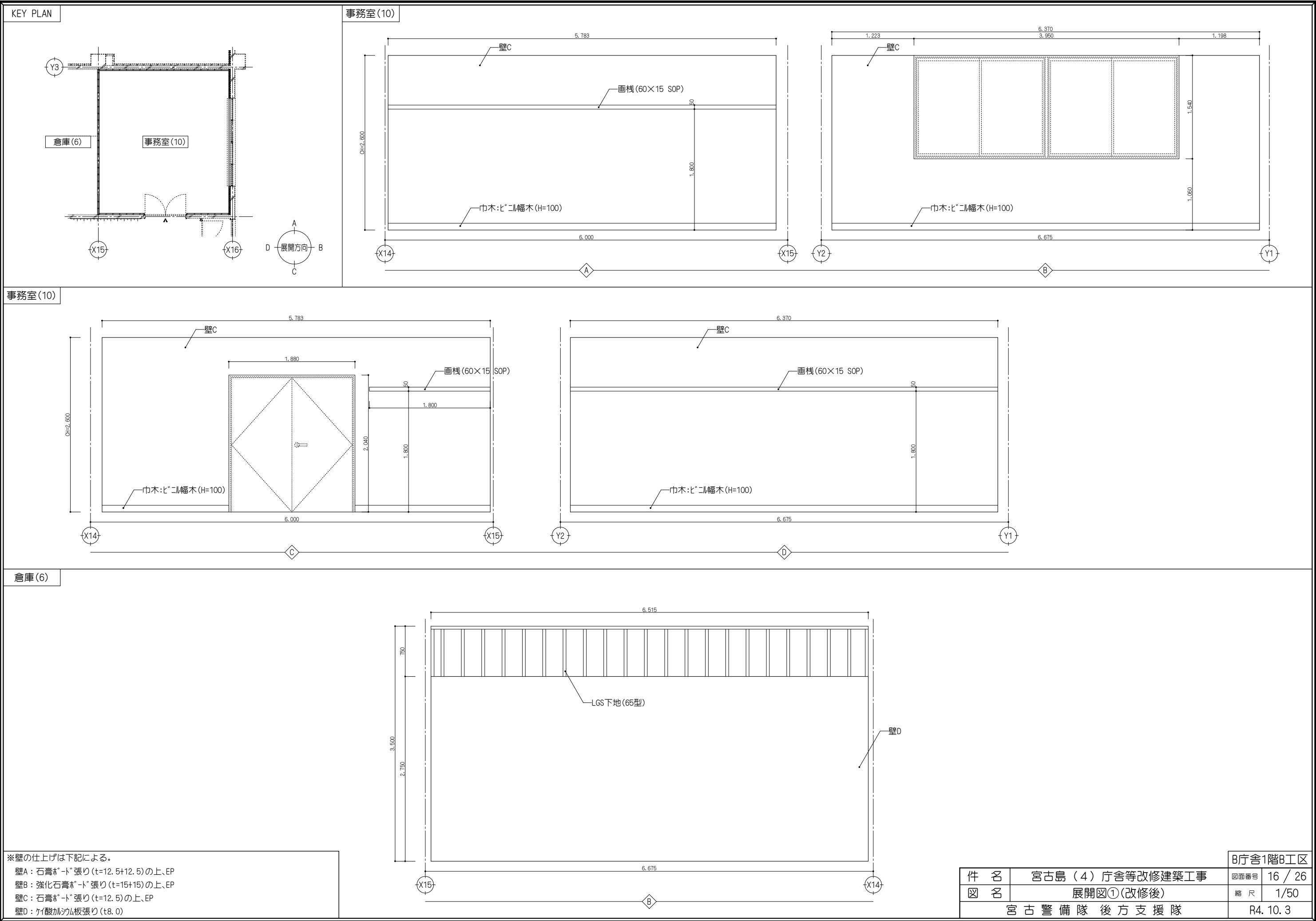
凡 例						B庁舎1階B工区	
	鉄筋コンクリート壁		防火区画壁:LGS間仕切壁(65形) 強化石膏ボード両面張り(t=15+15)		帽子掛金物 (数字は、金物取付け個数を示す)		画 棧
	外壁断熱材施工壁:RC壁+LGS壁(50形) GN断熱材(24K)+石膏ボード張り(t=12.5)		遮音壁:LGS間仕切壁(65形) GN断熱材(24K)+石膏ボード両面張り(t=12.5+12.5)		ブラインドボックス(W=窓巾)		シーリング(MS-2) 6×3
	LGS壁		室名札(面付型枠付)		カーテンボックス(W=窓巾+300)		
						件 名	宮古島(4)庁舎等改修建築工事
						図 名	平面詳細図①(改修前)
						宮古警備隊 後方支援隊	
						図面番号	13 / 26
						縮 尺	1/50
						R4. 10. 3	

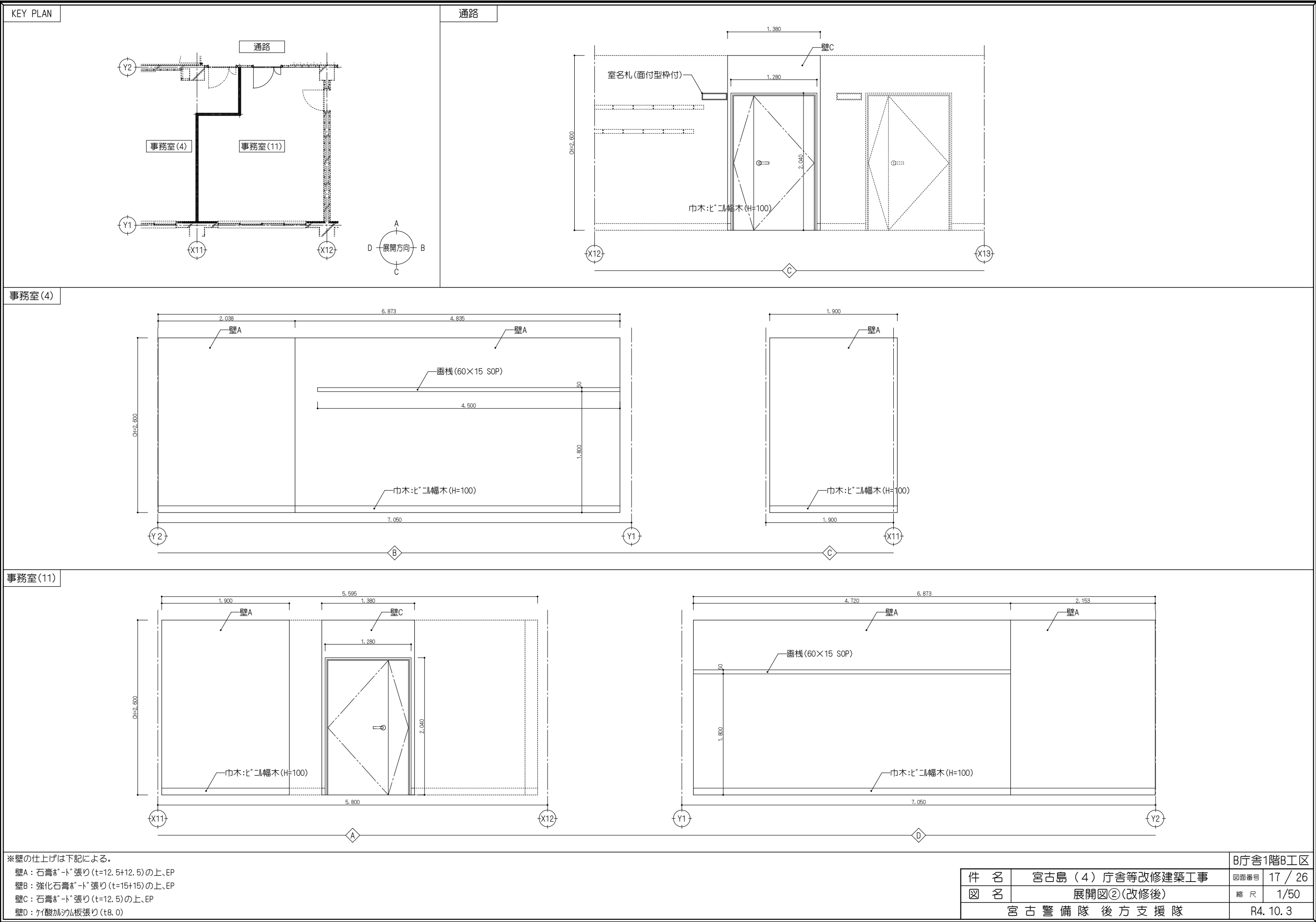


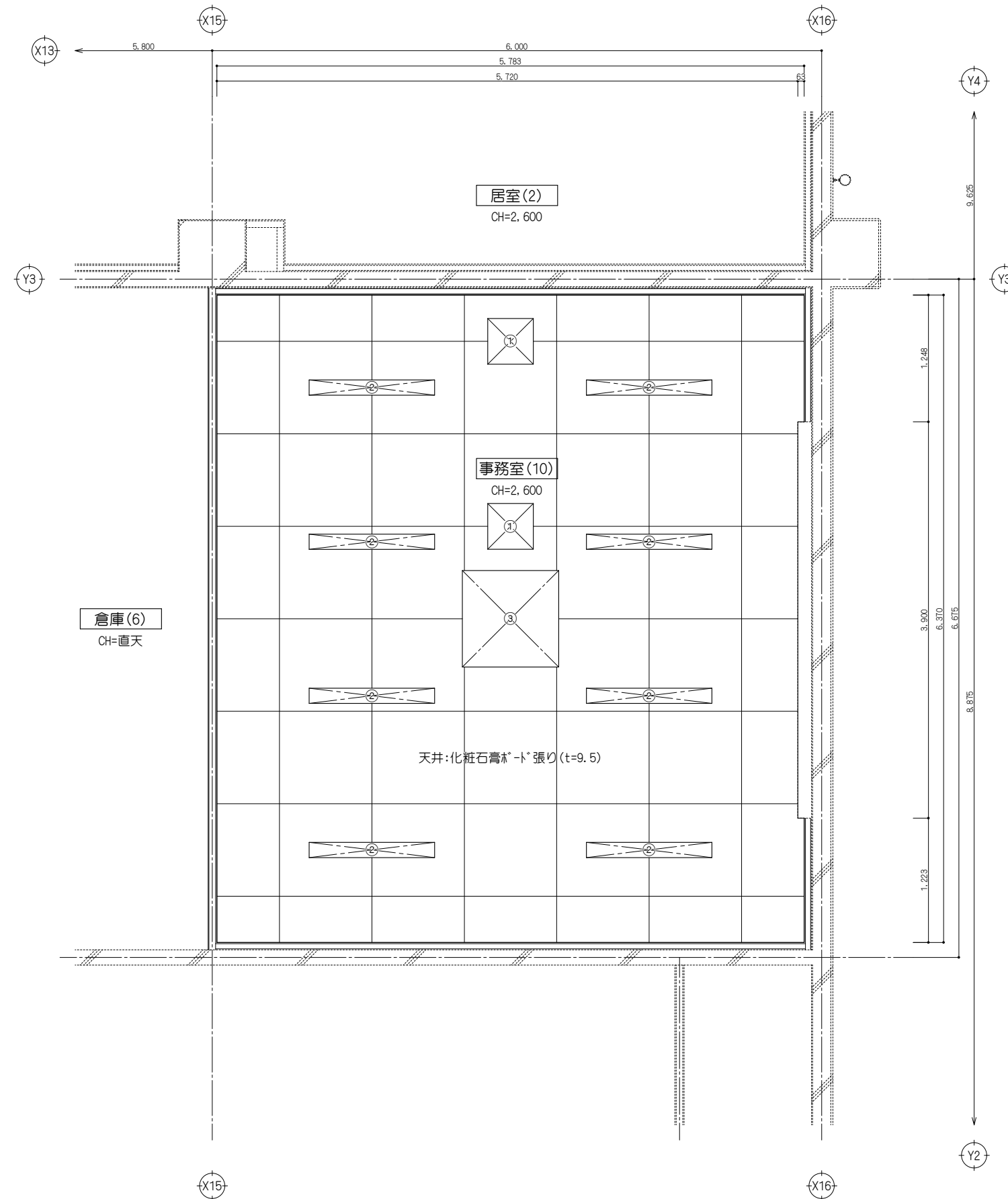
凡 例				B庁舎1階B工区			
	鉄筋コンクリート壁		防火区画壁：LGS間仕切壁(65形)		帽子掛金物	件 名	宮古島（４）庁舎等改修建築工事
	外壁断熱材施工壁：RC壁+LGS壁(50形)		遮音壁：LGS間仕切壁(65形)		(数字は、金物取付け個数を示す)	図 名	平面詳細図①(改修後)
	GN断熱材(24K)+石膏ボード張り(t=12.5)		GN断熱材(24K)+石膏ボード両面張り(t=12.5+12.5)		ブライトボックス(W=窓巾)	縮 尺	1/50
	LGS壁		室名札(面付型枠付)		カーテンボックス(W=窓巾+300)	宮古警備隊 後方支援隊	
					画 棧	R4. 10. 3	
					シーリング (MS-2) 6×3		



B庁舎1階B工区	
件名	宮古島(4)庁舎等改修建築工事
図名	断面詳細図(改修後)
宮古警備隊 後方支援隊	
図面番号	15 / 26
縮尺	1/50
R4. 10. 3	







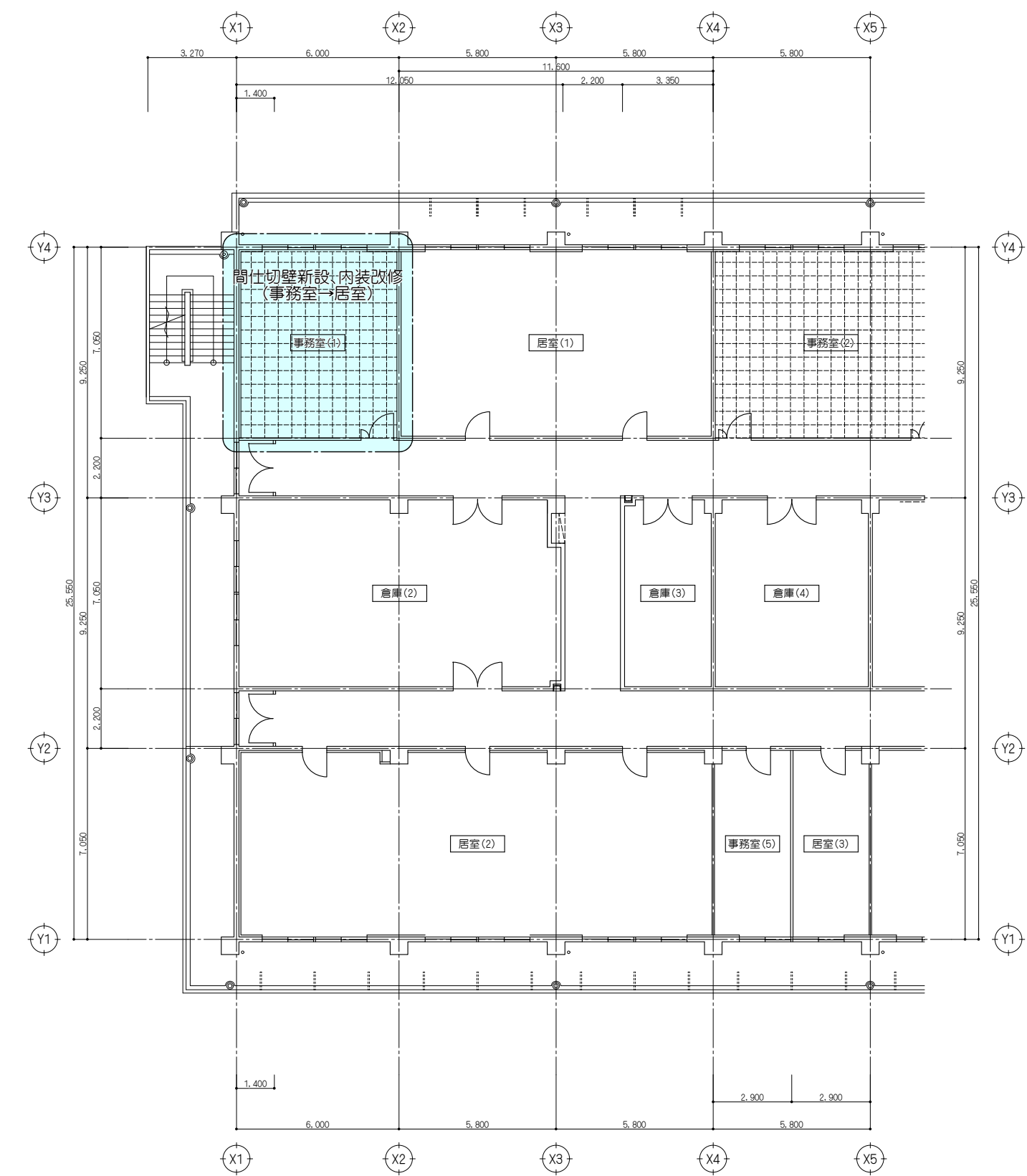
天井開口補強処

記号	名称	開口補強寸法	数量
①	天井点検口	450 × 450	2
②	照明器具	1,235 × 150	8
③	空調機器	950 × 950	1

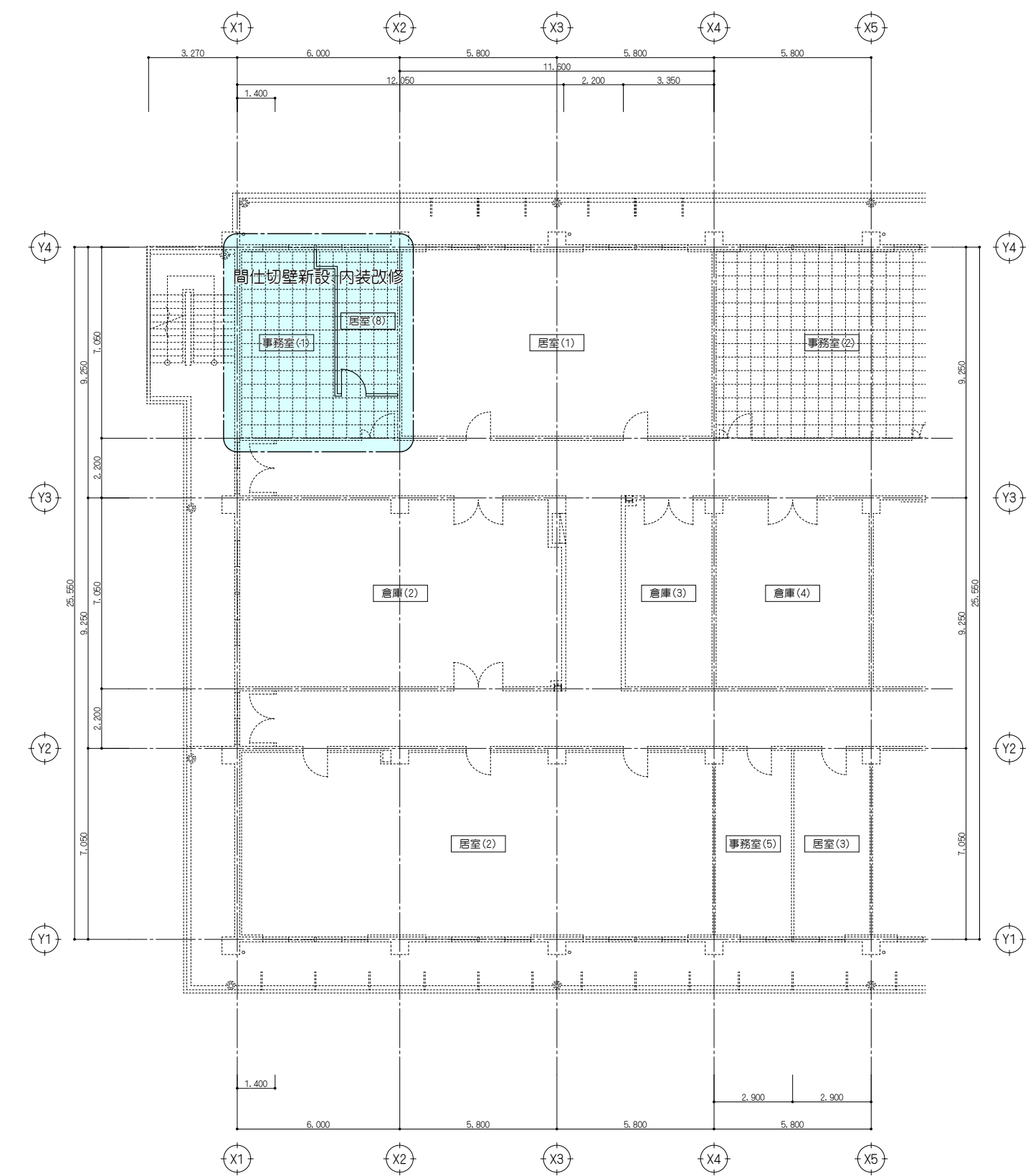
B庁舎1階B工区

件名	宮古島(4)庁舎等改修建築工事	図面番号	18 / 26
図名	天井伏図(改修後)	縮尺	1/50
宮古警備隊 後方支援隊		R4.10.3	

改修前



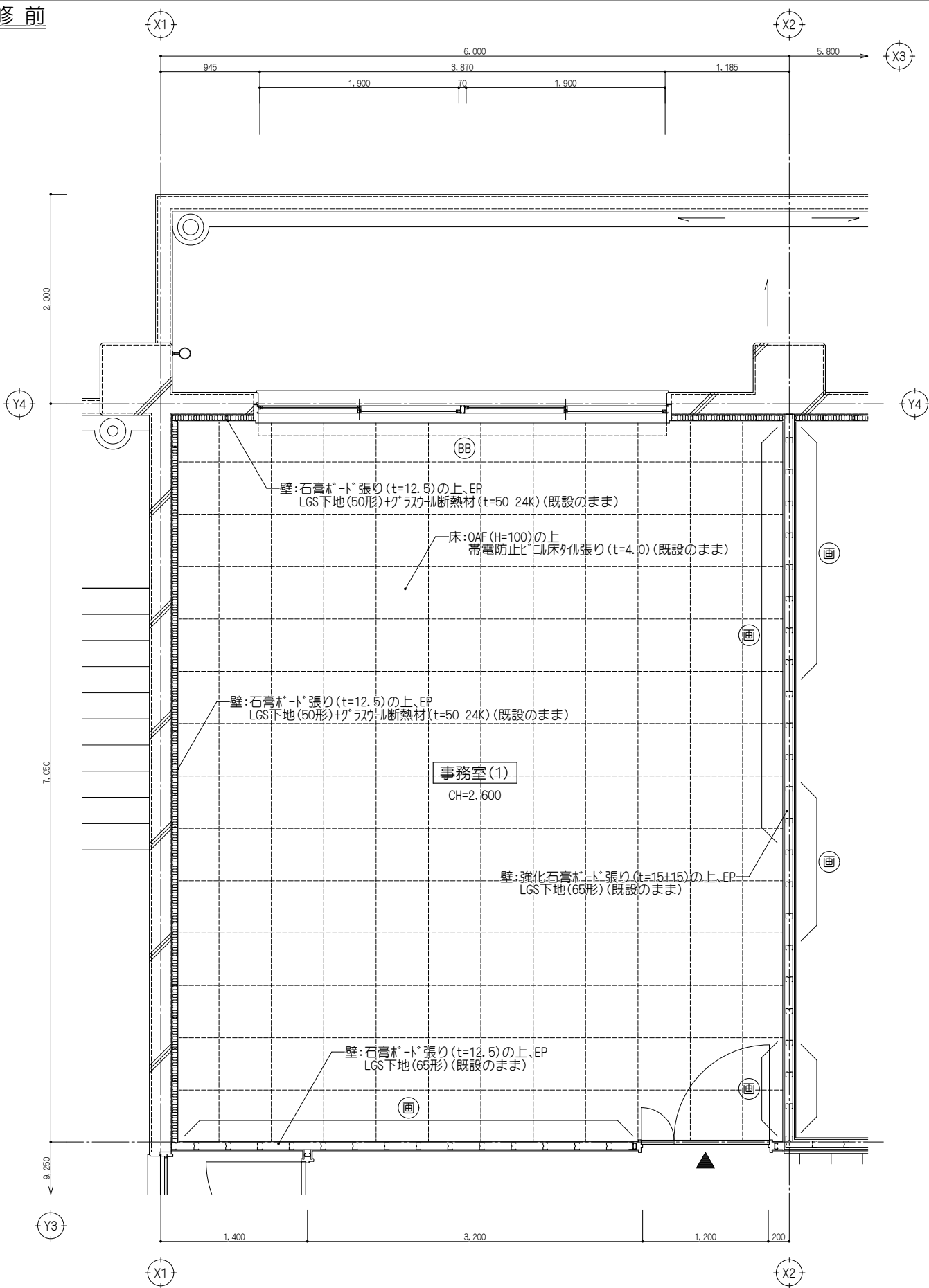
改修後



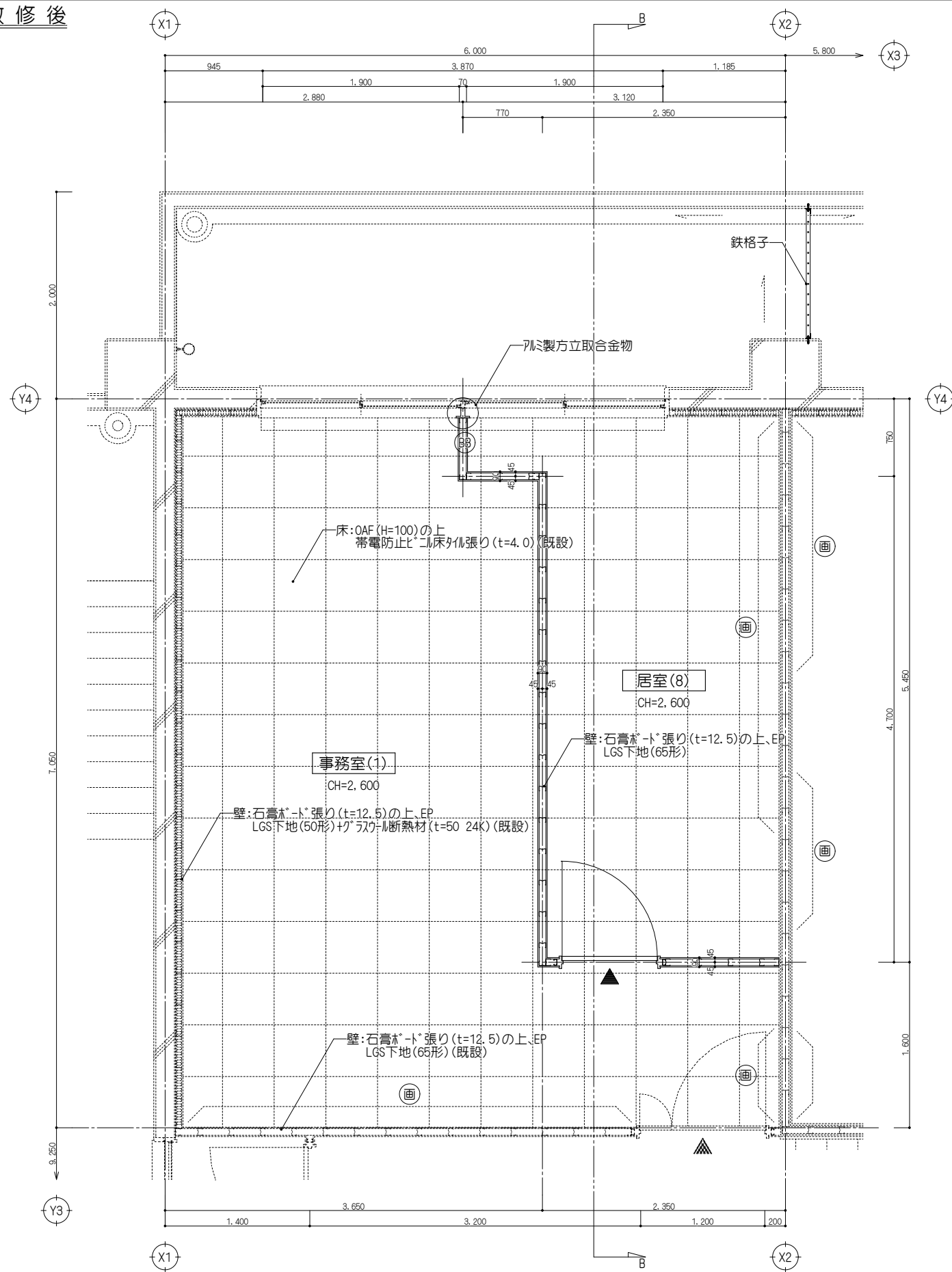
：施工範囲を示す。

件名	宮古島（４）庁舎等改修建築工事	D庁舎2階
図名	平面図(改修前・改修後)	図面番号 19 / 26
宮古警備隊 後方支援隊		縮尺 1/200
		R4. 10. 3

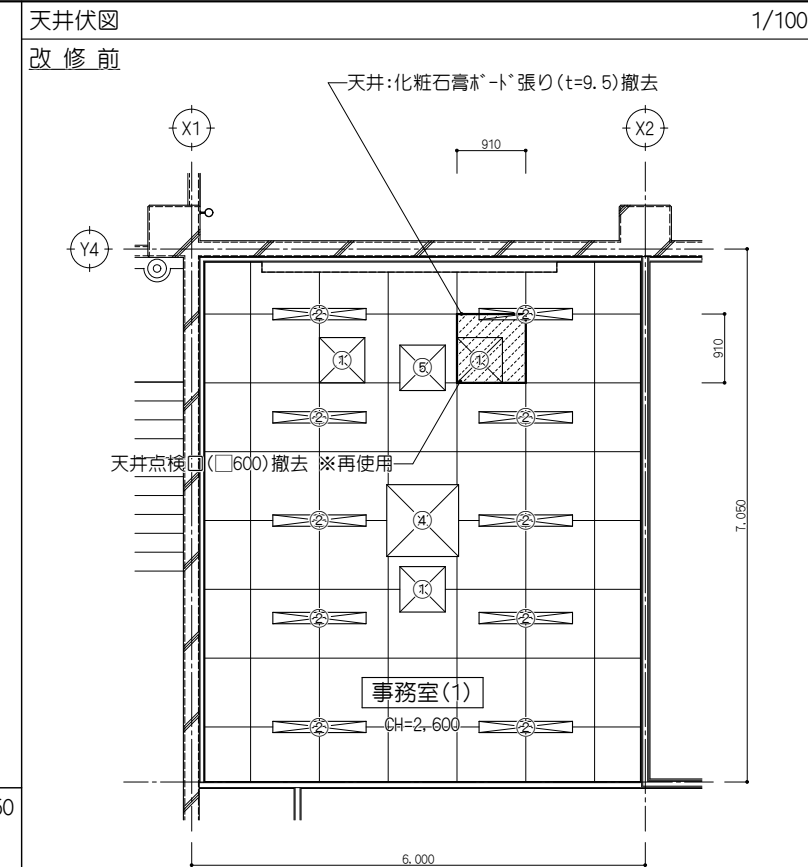
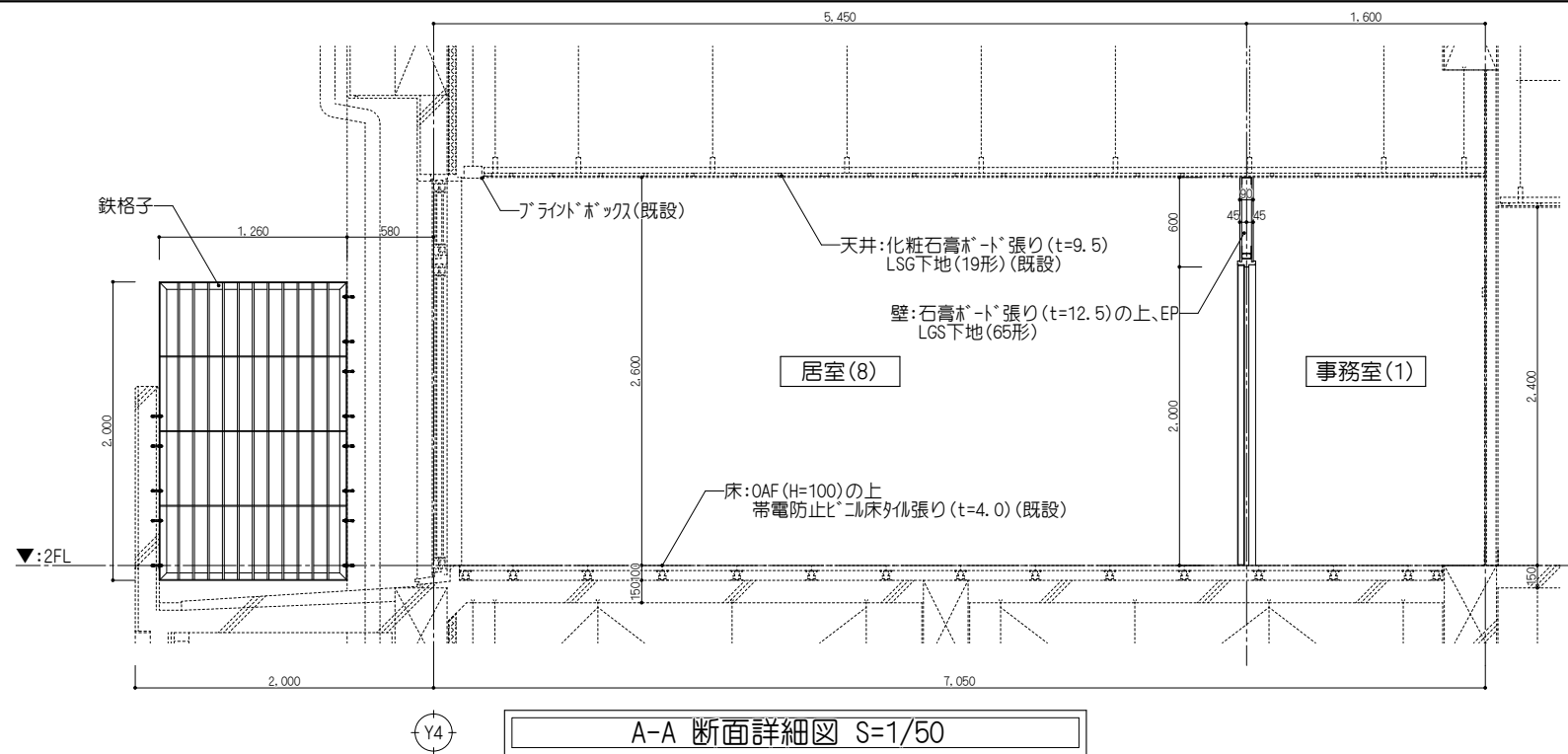
改修前



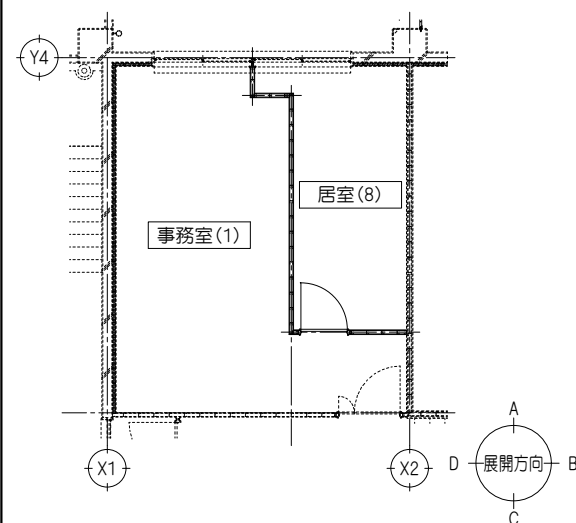
改修後



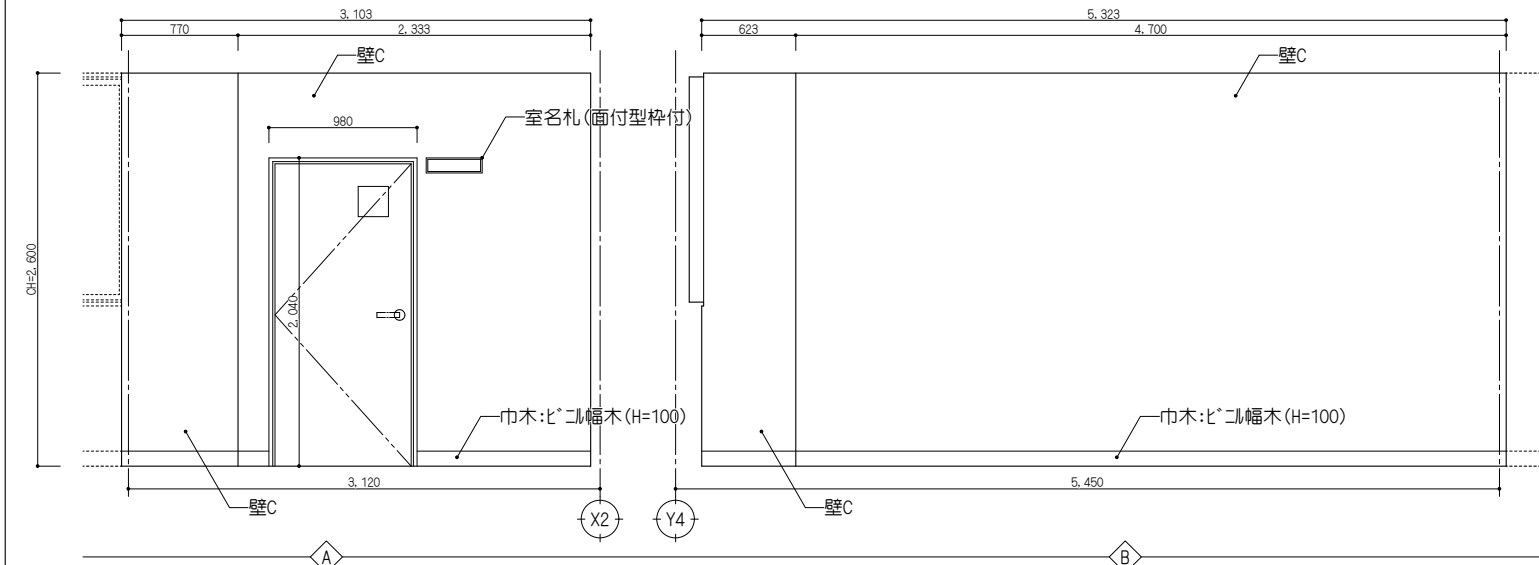
凡 例								D庁舎2階				
	鉄筋コンクリート壁		防火区画壁:LGS間仕切壁(65形) 強化石膏ボード両面張り(t=15+15)		帽子掛金物 (数字は、金物取付け個数を示す)		画线	件 名	宮古島(4)庁舎等改修建築工事		図面番号	20 / 26
	外壁断熱材施工壁:RC壁+LGS壁(50形) GN断熱材(24K)+石膏ボード張り(t=12.5)		遮音壁:LGS間仕切壁(65形) GN断熱材(24K)+石膏ボード両面張り(t=12.5+12.5)		ブラインドボックス(W=窓巾)			図 名	平面詳細図(改修前・改修後)		縮 尺	1/50
	LGS壁		室名札(面付型枠付)		カーテンボックス(W=窓巾+300)			宮古警備隊 後方支援隊				R4. 10. 3



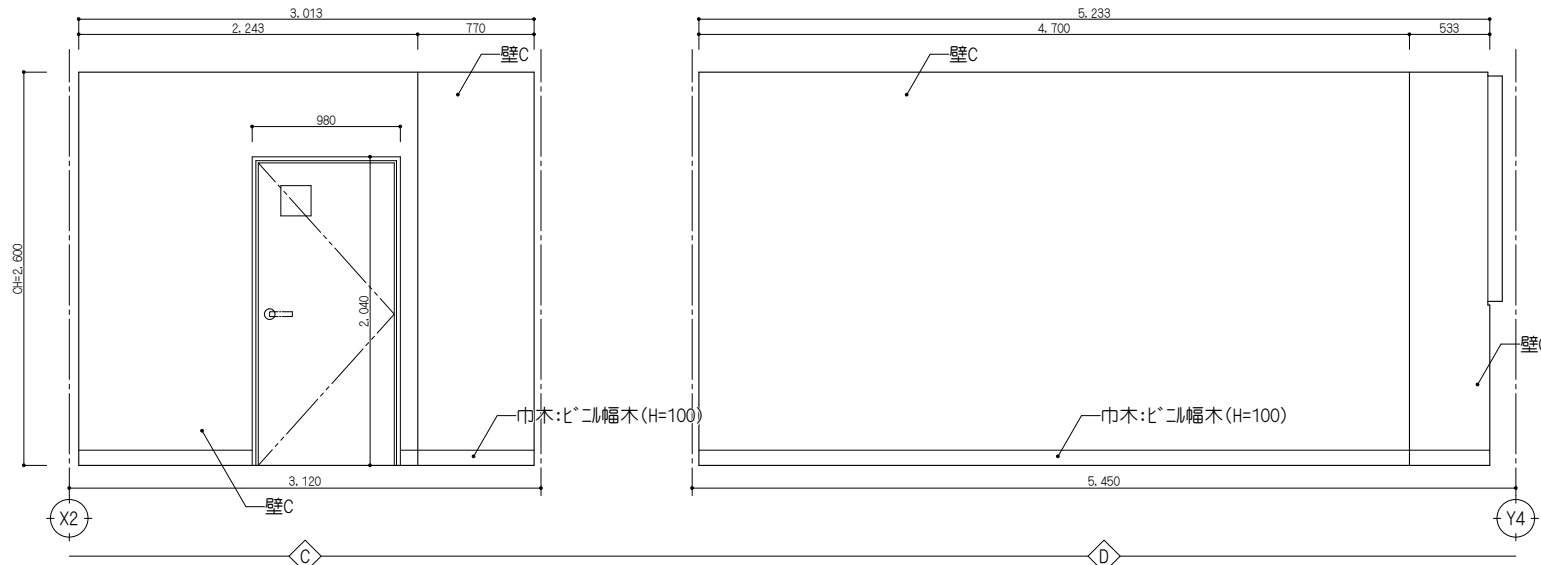
KEY PLAN



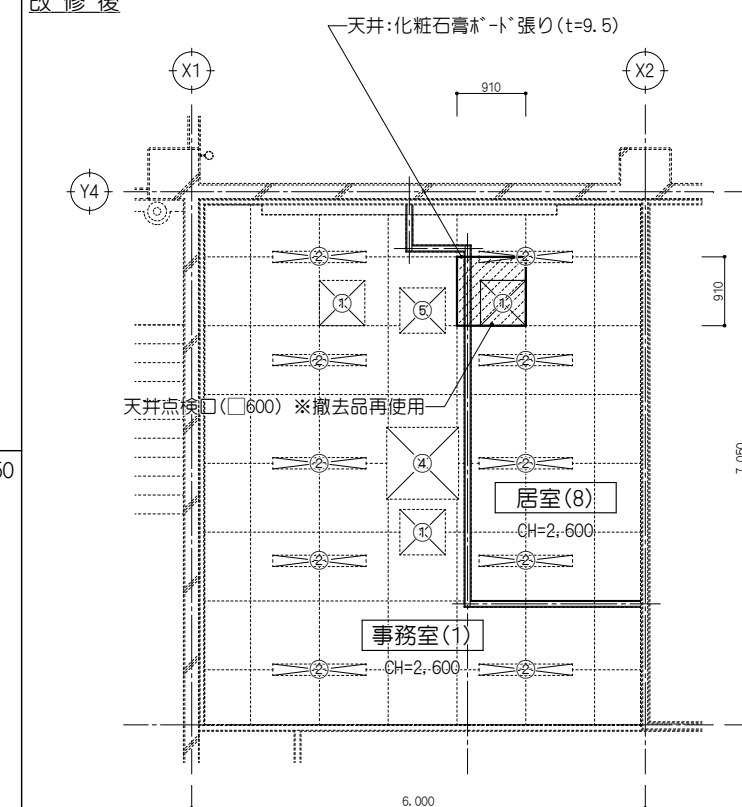
事務室(1)



居室(8)



改修後

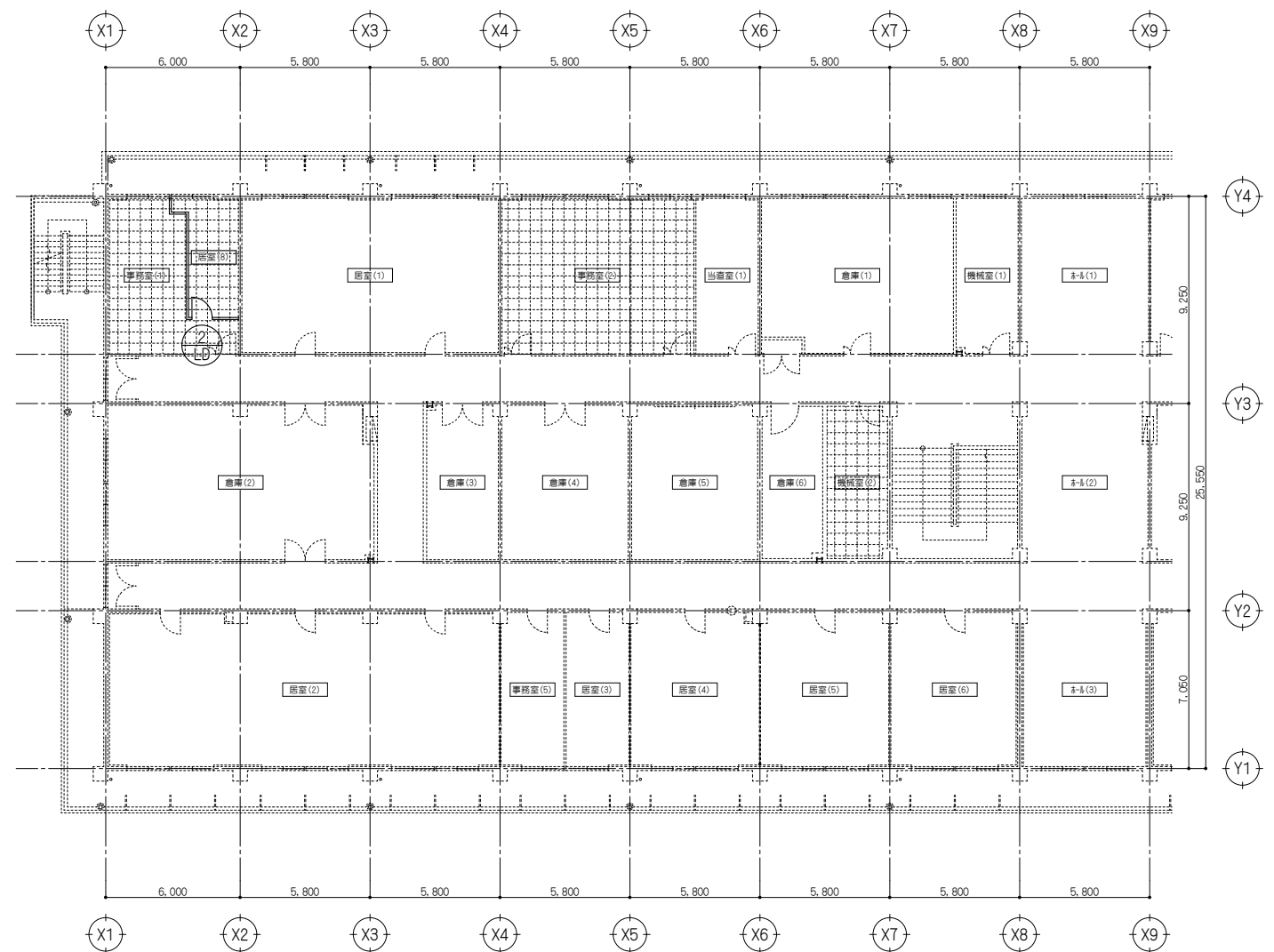
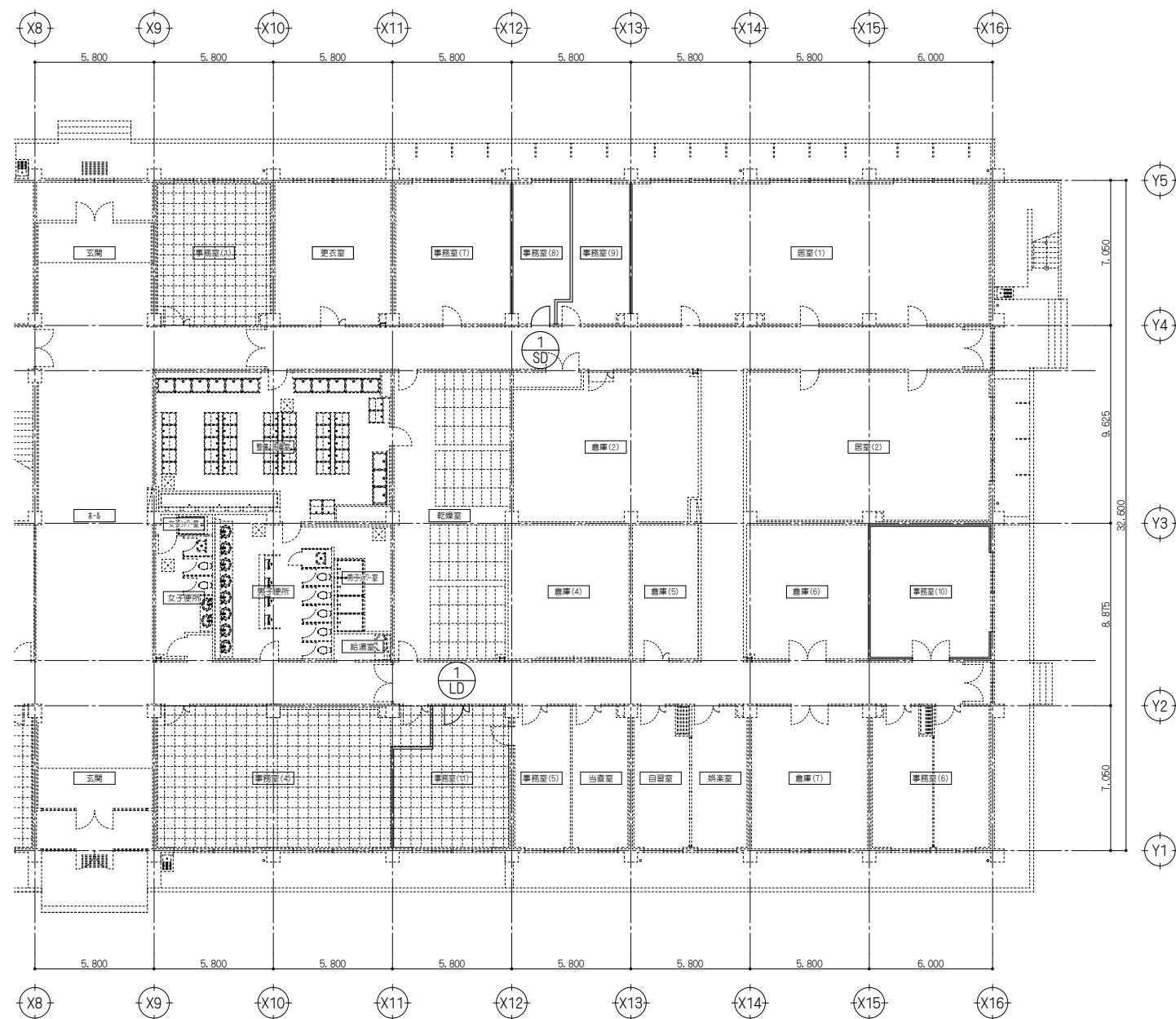


※壁の仕上げは下記による。

壁A：石膏ボード張り(t=12.5+12.5)の上、EP
壁B：強化石膏ボード張り(t=15+15)の上、EP
壁C：石膏ボード張り(t=12.5)の上、EP
壁D：ケイ酸カルシウム板張り(t=8.0)

D庁舎2階

件名	宮古島(4)庁舎等改修建築工事	図面番号	21 / 26
図名	断面詳細図(改修後)・展開図・天井伏図	縮尺	図示
宮古警備隊 後方支援隊		R4.10.3	

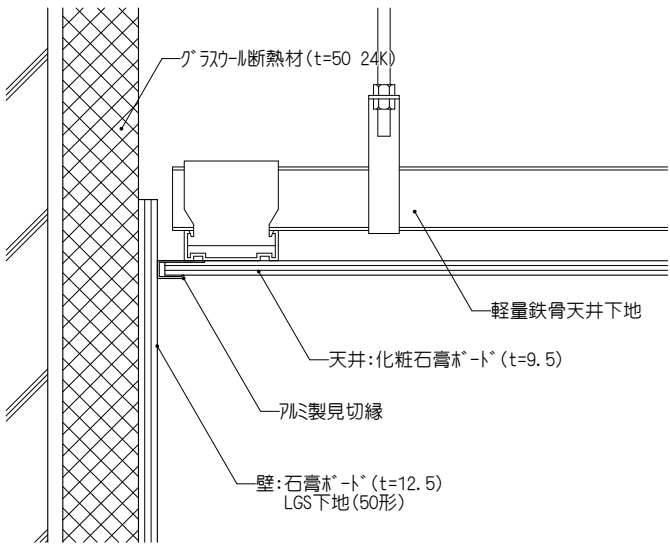


件 名	宮古島（４）庁舎等改修建築工事	図面番号	22 / 26
図 名	建具配置図	縮 尺	1/300
宮古警備隊 後方支援隊		R4.10.3	

符号・名称	数量	1SD 銅製片開きファシユ戸	1	1LD 銅製軽量親子開きファシユ戸	1	2LD 銅製軽量片開きファシユ戸	1	特記事項 ※1 CL-1:リツァー箱錠(内部サムターン) ※2 トアラフは、ハットルタイプとする。 ※3 鍵はディンプルキーとする。												
位置	鍵	【B庁舎1F】事務室(8)	CL-1	【B庁舎1F】事務室(11)	CL-1	【D庁舎2F】居室(8)	CL-1													
形状及び寸法																				
	材質及び仕上	枠見込 表面処理銅板 t=1.6 SOP	155	表面処理銅板 t=0.8 木目調塩ビシート張り	145	表面処理銅板 t=0.8 SOP	120													
	ガラス	70-ト板ガラス(単板) 6mm		—		70-ト板ガラス(単板) 6mm														
建具金物その他	ステンレス丁番×3、トアラフ(ストップ無)×1、リツァー箱錠×1、気密ジム(4方)戸当り(ア刹止め無)×1、その他付属金物一式		ステンレス丁番×6、トアラフ(ストップ付)×1、リツァー箱錠×1、アラフ落とし×1 順位調節器、戸当り(ア刹止め付)×1、その他付属金物一式		ステンレス丁番×3、トアラフ(ストップ付)×1、リツァー箱錠×1戸当り(ア刹止め付)×1、その他付属金物一式															
備考	特定防火設備(遮煙)																			
1SD 建具詳細図			1/10	1LD 建具詳細図			1/10	2LD 建具詳細図 1/10												
<table><tr><td>件名</td><td>宮古島(4)庁舎等改修建築工事</td><td>図面番号</td><td>23 / 26</td></tr><tr><td>図名</td><td>建具表・建具詳細図</td><td>縮尺</td><td>図示</td></tr><tr><td colspan="2">宮古警備隊 後方支援隊</td><td colspan="2">R4.10.3</td></tr></table>									件名	宮古島(4)庁舎等改修建築工事	図面番号	23 / 26	図名	建具表・建具詳細図	縮尺	図示	宮古警備隊 後方支援隊		R4.10.3	
件名	宮古島(4)庁舎等改修建築工事	図面番号	23 / 26																	
図名	建具表・建具詳細図	縮尺	図示																	
宮古警備隊 後方支援隊		R4.10.3																		

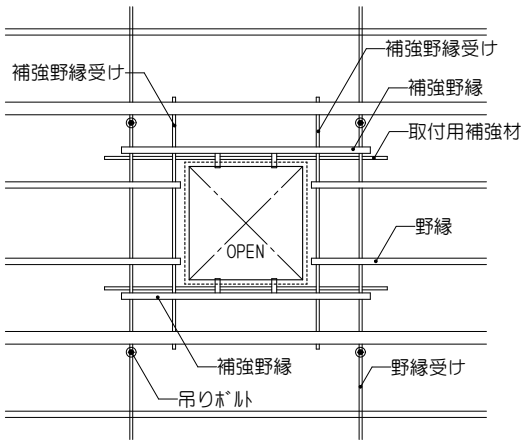
天井廻り縁納り詳細図

1/5



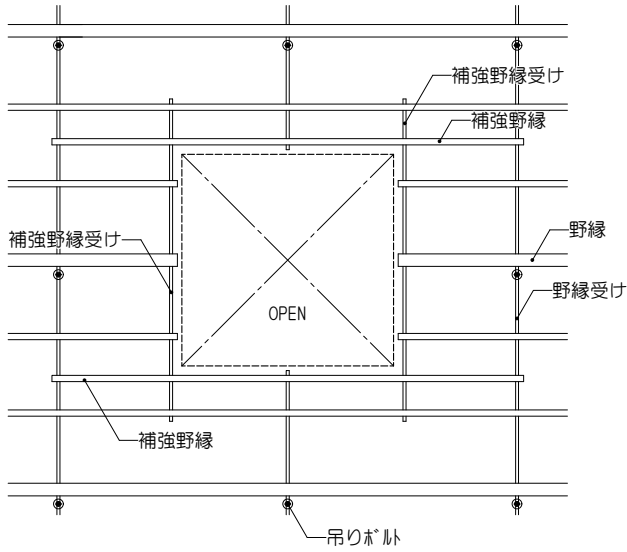
天井開口下地補強(天井点検口)

1/30



天井開口下地補強(照明器具その他)

1/30

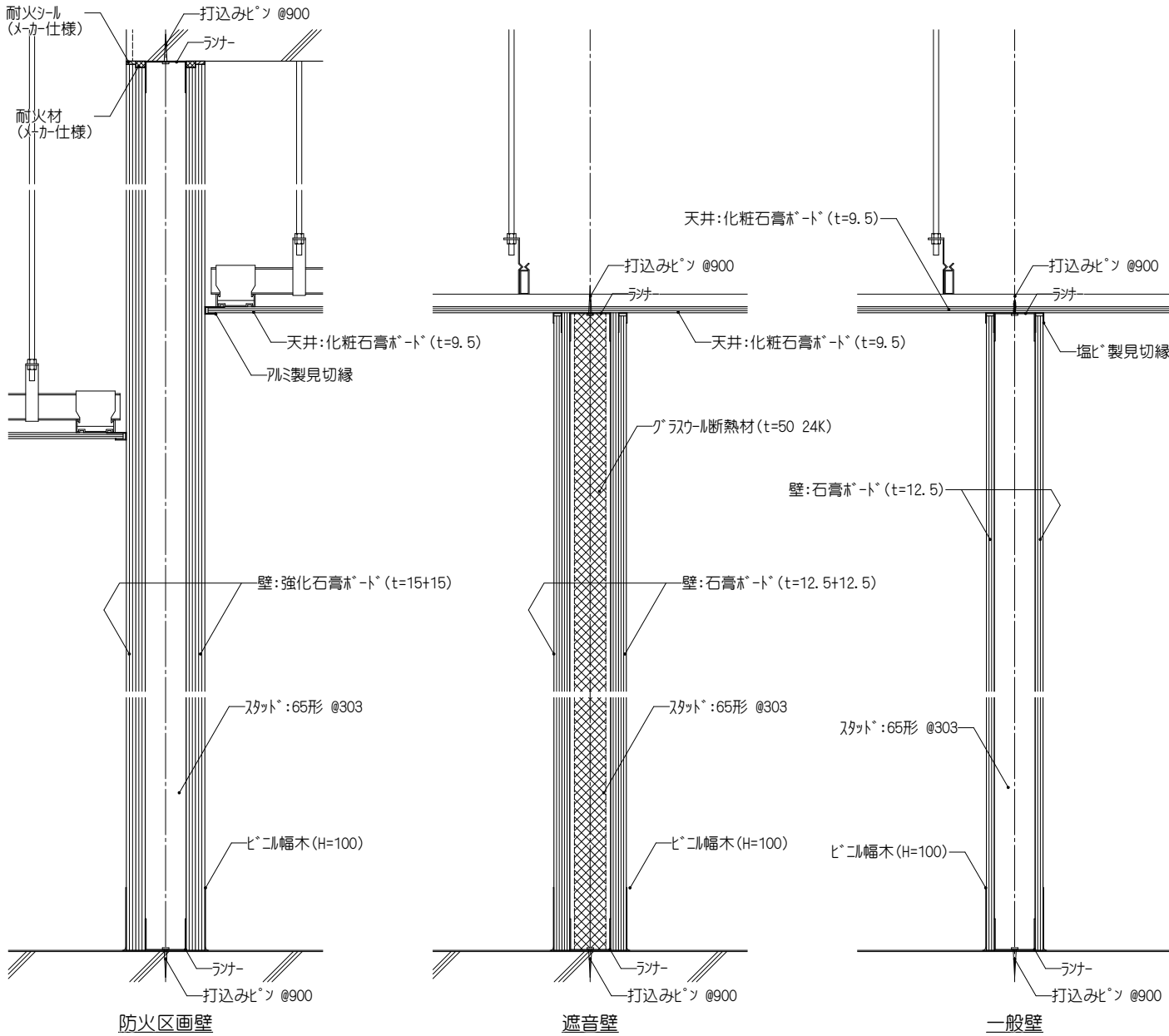
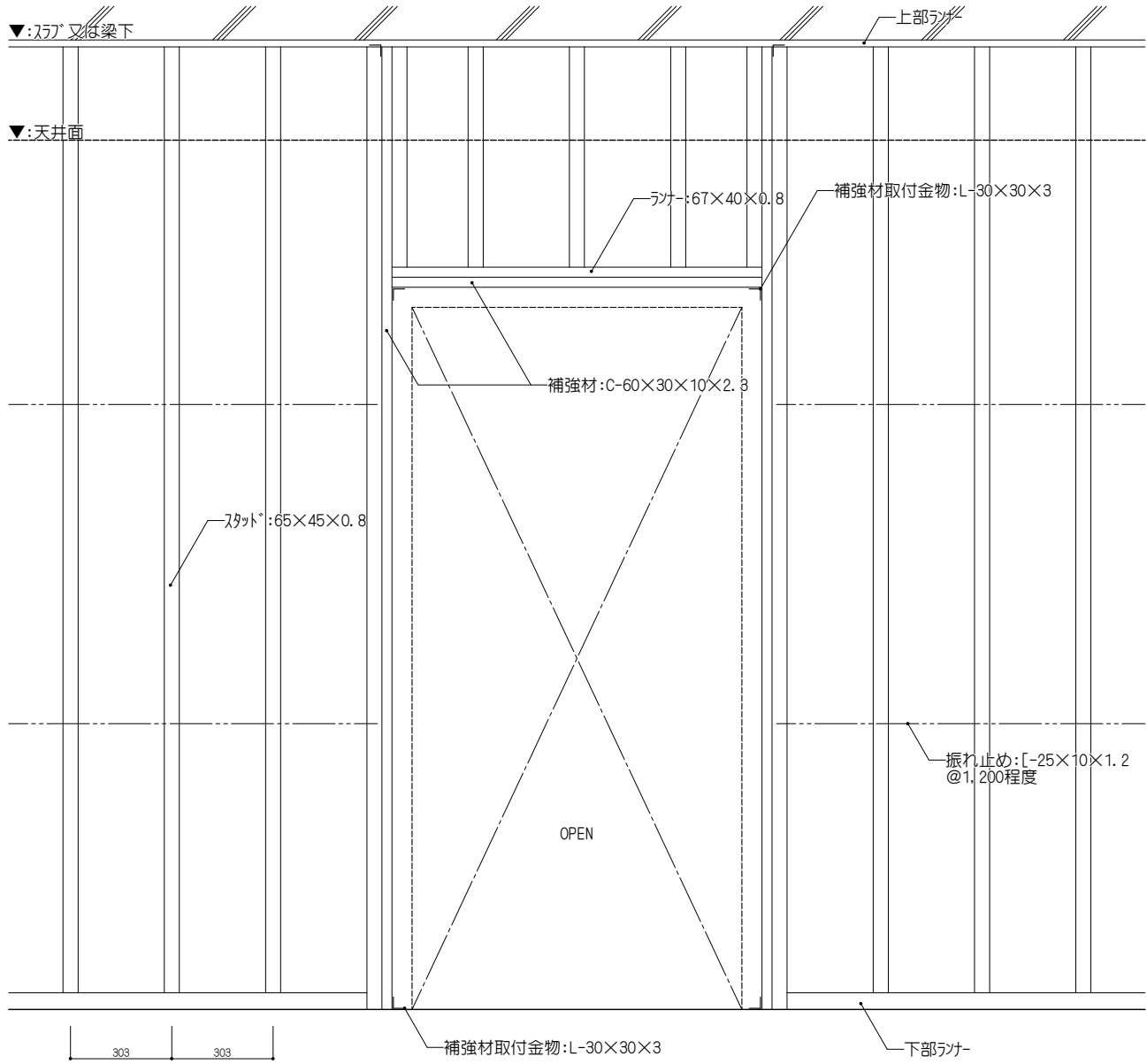


軽量鉄骨壁下地納り図(65型)

1/20

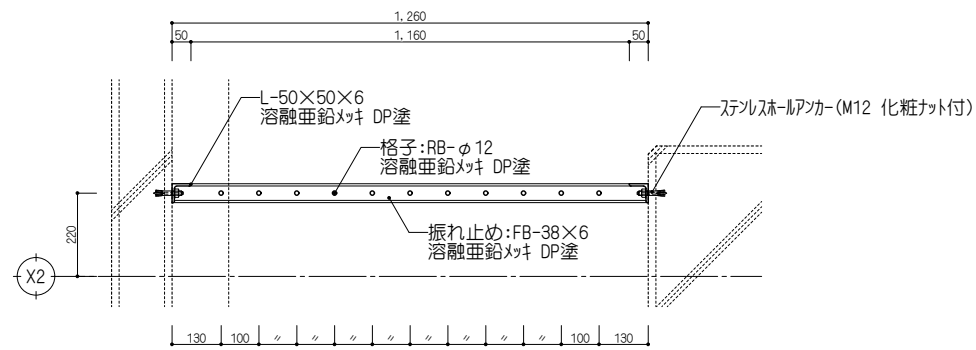
軽量鉄骨間仕切壁詳細図

1/10

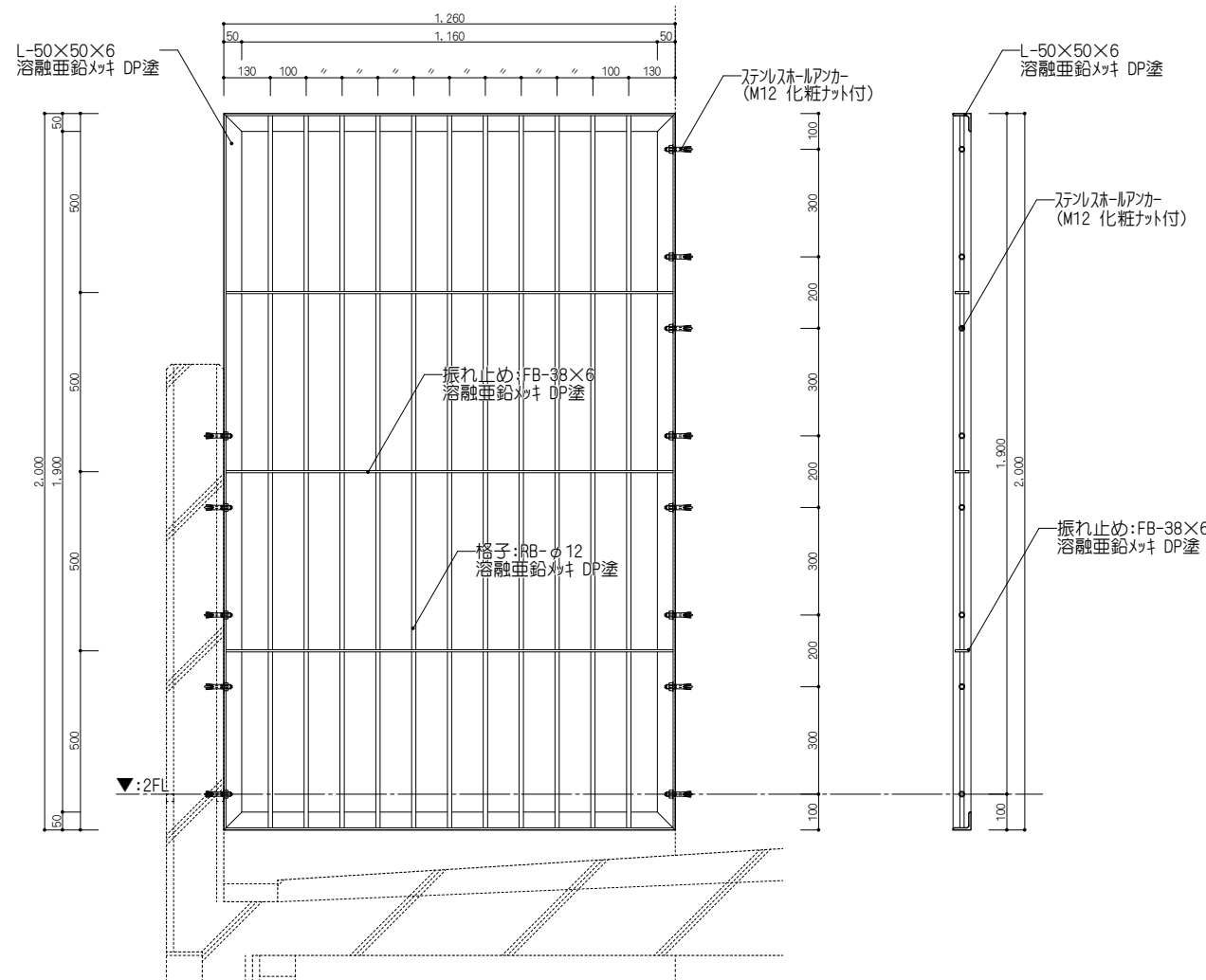


件名	宮古島(4)庁舎等改修建築工事	図面番号	24 / 26
図名	雑詳細図①	縮尺	図示
宮古警備隊 後方支援隊		R4.10.3	

軽量鉄骨壁取合い詳細図(LGS壁-LGS天井) 1/5	軽量鉄骨壁取合い詳細図(LGS壁-RC壁) 1/5	軽量鉄骨壁取合い詳細図(LGS壁-LGS壁) 1/5	軽量鉄骨壁取合い詳細図(LGS壁-LGS壁) 1/5
外壁断熱材施工壁・ふかし壁建具廻り詳細図 平面図			1/10 アルミ製方立取合金物詳細図 1/5 平面図
帽子掛け詳細図 1/5, 1/20	画棧詳細図 1/5, 1/20	室名札詳細図 1/10	断面図 断面図
件名 宮古島(4)庁舎等改修建築工事 図名 雑詳細図② 宮古警備隊 後方支援隊			図面番号 25 / 26 縮尺 図示 R4.10.3



平面図



立面図

断面図

件名	宮古島（４）庁舎等改修建築工事	図面番号	26 / 26
図名	雑詳細図③	縮尺	図示
宮古警備隊 後方支援隊		R4.10.3	